

第42回 県政世論調査

単純集計結果

令和元年8月実施

岐阜県

目 次

I	調査概要	1
1. 1	調査の目的	1
1. 2	調査の経緯	1
1. 3	調査項目	1
1. 4	調査の設計	1
1. 5	回収結果	1
1. 6	標本誤差	2
1. 7	報告書の見方	2
1. 8	対象者の属性	3
II	調査結果	8
2. 1	暮らしについて	8
問1	暮らしの前年比較	8
問1-2	暮らしが苦しくなったと感じる理由	9
問2	暮らしの満足度	11
問3	生活面での不安	12
問4	今後の暮らしの中で重視していきたいこと	14
問5	生活に必要な情報の入手媒体	16
問6	現在住んでいる地域は住みやすいか	18
問6-2	住んでいる地域が住みやすいと感じる点	19
問6-3	住んでいる地域が住みにくいと感じる点	21
問7	今後も岐阜県に住み続けたいか	23
2. 2	県の取組み全般について	24
問8	施策や事業についての情報の入手方法	24
問9	県事業への関心の有無	26
問9-2	県事業に関心がない理由	27
問10	県の取組でよくやっていると思う分野、 努力が足りないと思う分野	28
問11	重点的に進めるべきだと思う分野	32

I 調査概要

1. 1 調査の目的

県下全域の県民意識の把握とともに、県行政に対する県民の関心、満足度等を調査し、県政推進の基礎資料とする。

1. 2 調査の経緯

昭和42年から実施、今回42回目

※昭和42年～昭和61年：毎年実施 昭和63年～平成18年：隔年実施 平成20年～：毎年実施

1. 3 調査項目

- (1) 暮らしについて
- (2) 県の取組み全般について

1. 4 調査の設計

- (1) 調査地域 岐阜県全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 令和元年8月23日～9月12日
- (7) 調査実施機関 株式会社 ゼンリン 岐阜営業所

1. 5 回収結果

	調査時期	標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
第42回 (令和元年度)	令和元年 8月	3,000	1,492	1,488	49.7%	49.6%
第41回 (平成30年度)	平成30年 7月	3,000	1,437	1,436	47.9%	47.9%
第40回 (平成29年度)	平成29年 7月	3,000	1,522	1,522	50.7%	50.7%

1. 6 標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad (\text{ただし、} P: \text{回答比率 } n: \text{回答者数})$$

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数 (n) 及び②回答比率 (P) によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P (回答比率 %)									
		5 又 は 95	10 又 は 90	15 又 は 85	20 又 は 80	25 又 は 75	30 又 は 70	35 又 は 65	40 又 は 60	45 又 は 55	50
n (回答者数 人)											
総数	1,488	1.1	1.5	1.8	2.0	2.2	2.3	2.4	2.5	2.5	2.5

(注) 1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。

2. この表の見方は以下のとおりである。

「ある設問の回答者数が 1,488 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.5%である。」

1. 7 報告書の見方

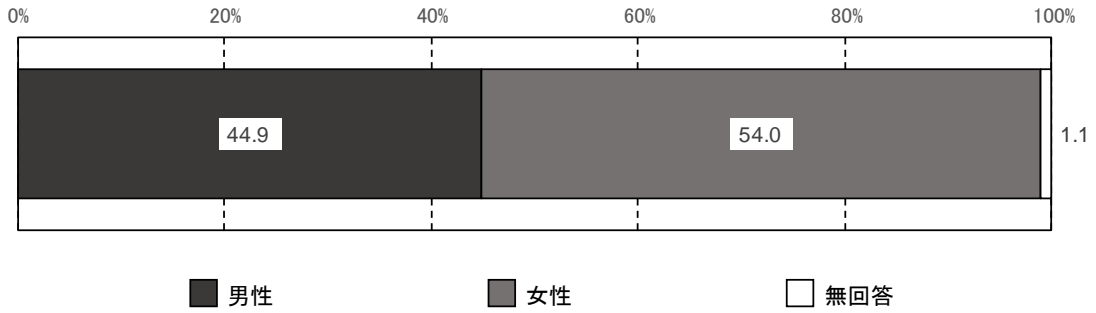
- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」(件数)として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

1. 8 対象者の属性

F-1 性別

図 F-1 性別

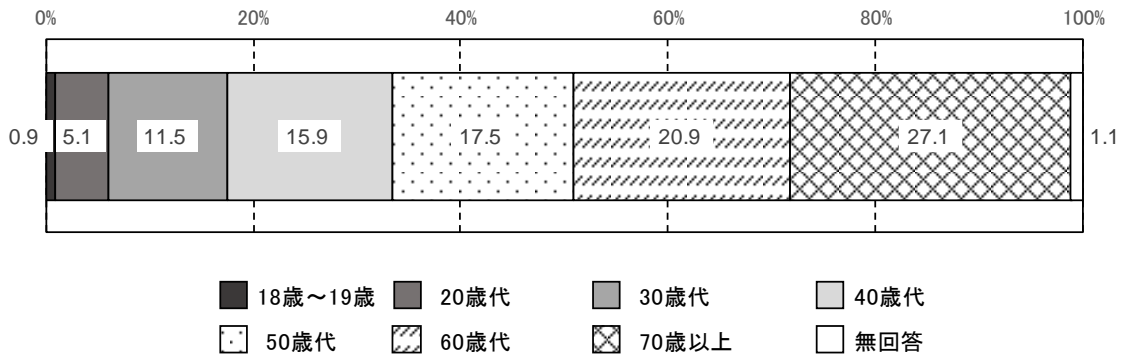
回答者数 (n = 1,488)



F-2 年代

図 F-2 年代

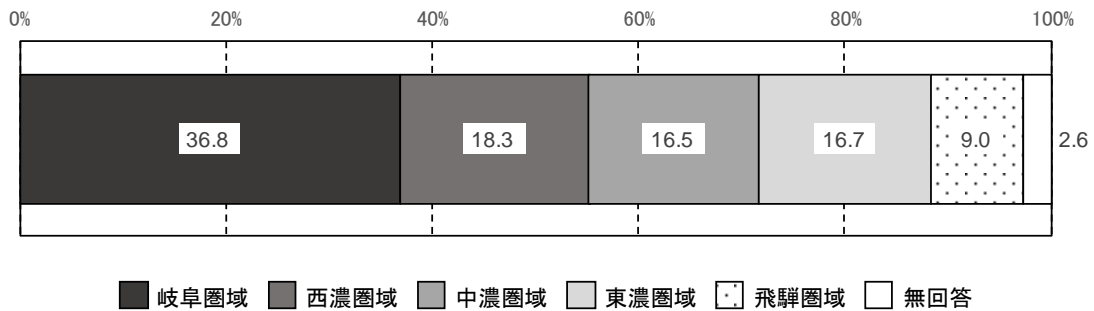
回答者数 (n = 1,488)



F-3 居住圏域（5分類）

図 F-3 居住圏域（5分類）

回答者数 (n = 1,488)

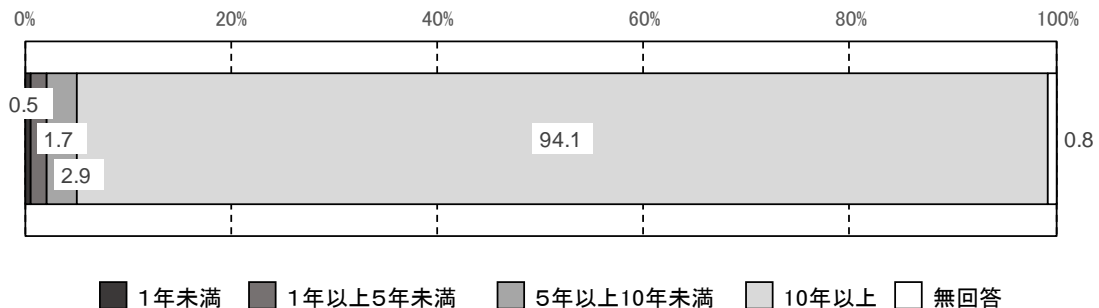


岐阜圏域（岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）
 西濃圏域（大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・
 揖斐川町・大野町・池田町）
 中濃圏域（関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・
 八百津町・白川町・東白川村・御嵩町）
 東濃圏域（多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市）
 飛騨圏域（高山市・飛騨市・下呂市・白川村）

F-4 居住年数

図 F-4 居住年数

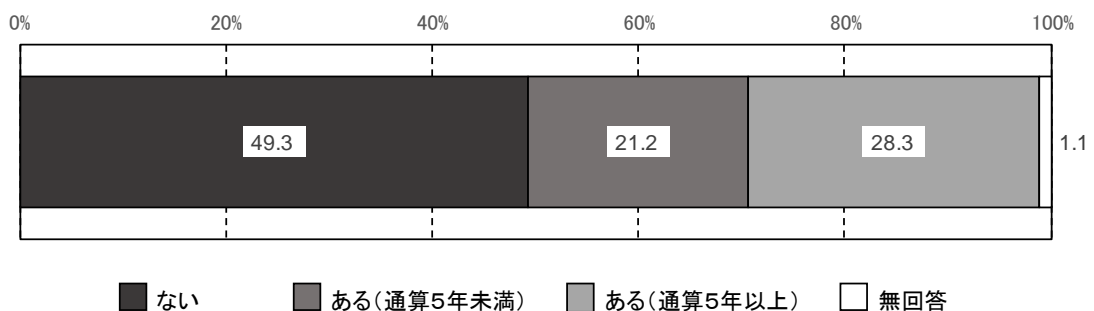
回答者数 (n = 1,488)



F-5 県外居住経験の有無

図 F-5 県外居住経験の有無

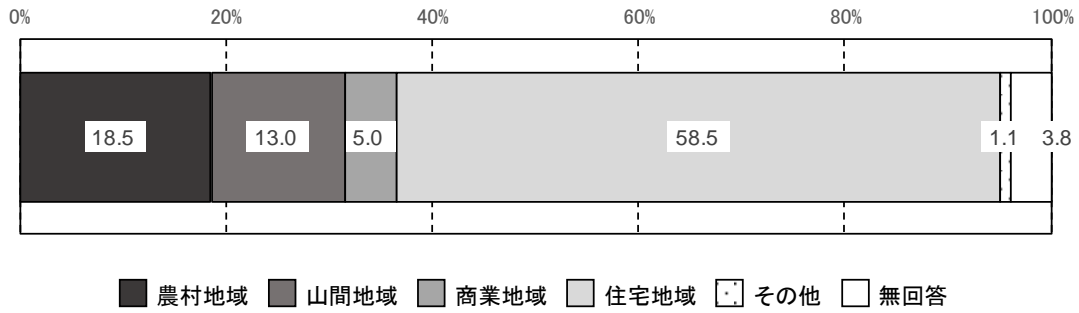
回答者数 (n = 1,488)



F-6 居住地周囲の環境

図 F-6 居住地周囲の環境

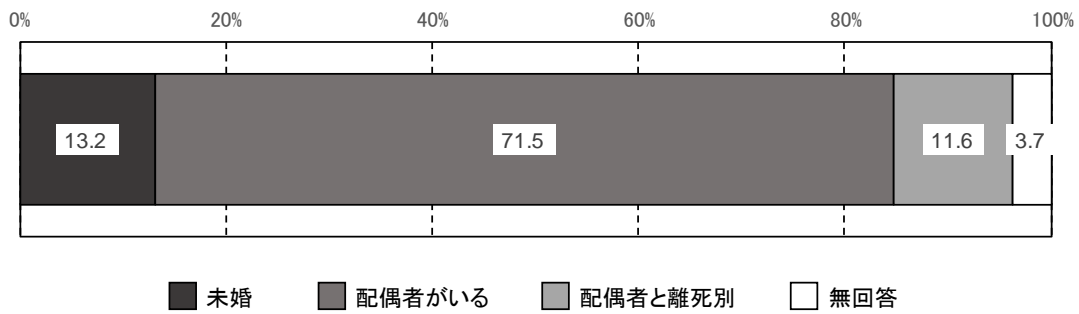
回答者数 (n = 1,488)



F-7 配偶者の有無

図 F-7 配偶者の有無

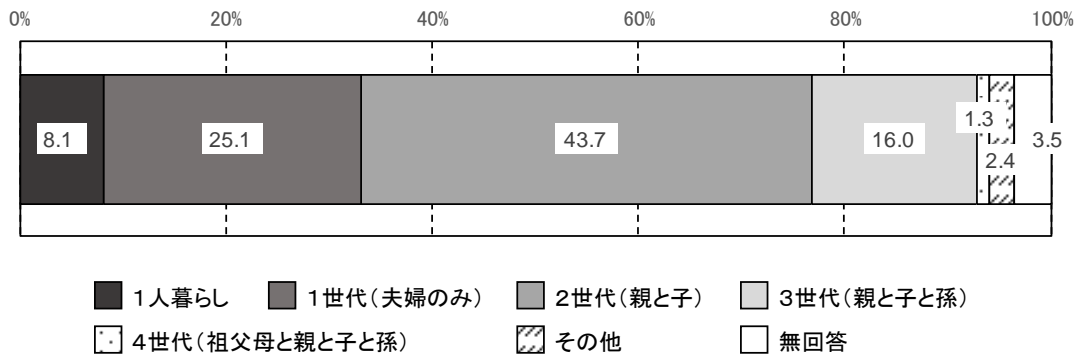
回答者数 (n = 1,488)



F-8 家族形態

図 F-8 家族形態

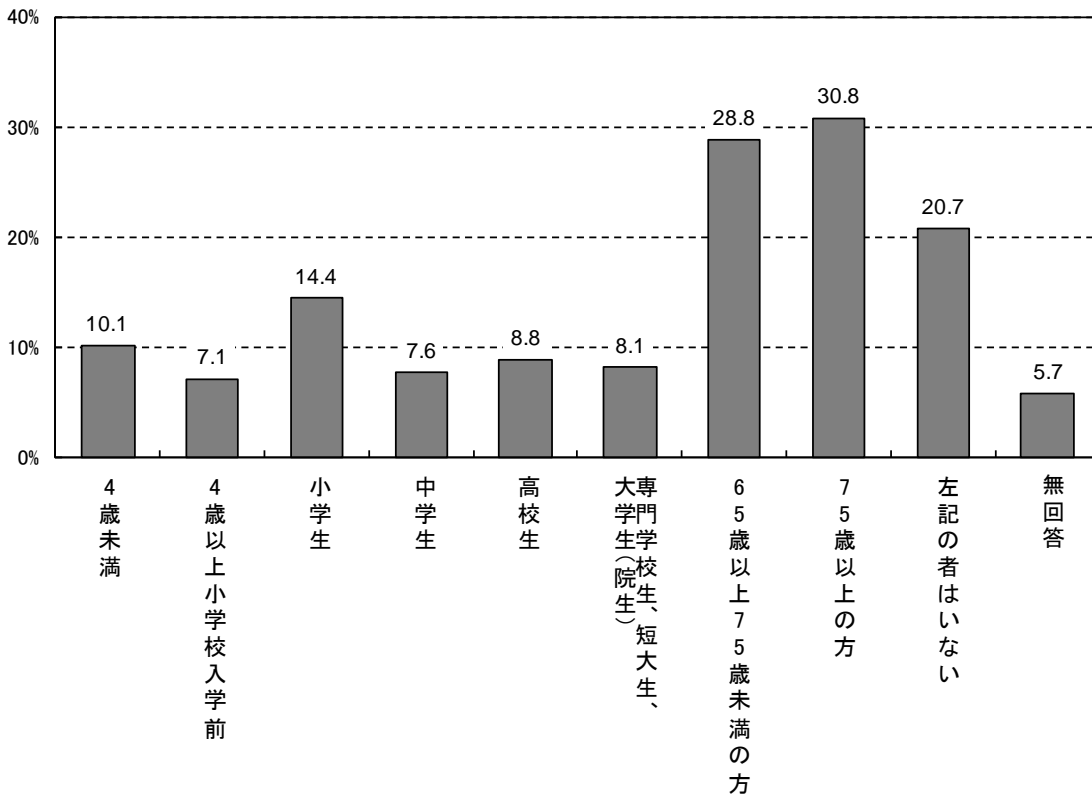
回答者数 (n = 1,488)



F-9 家族構成

図 F-9 家族構成

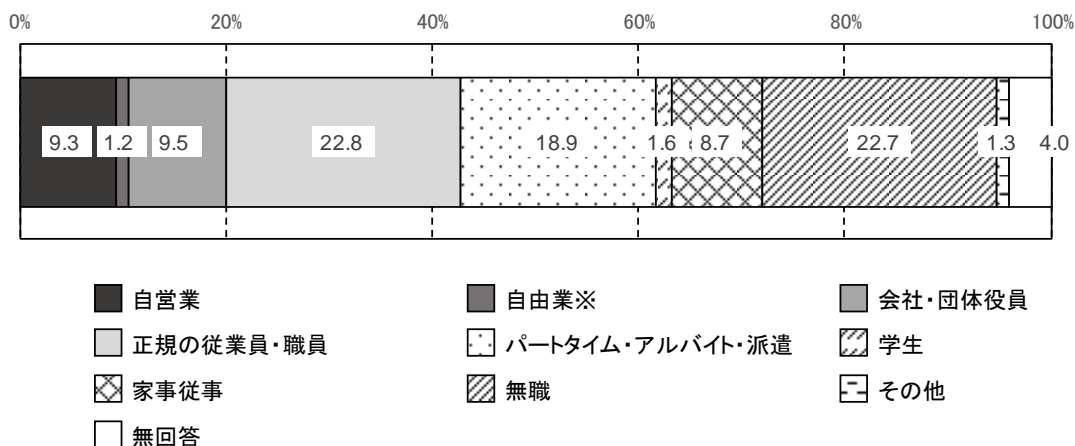
回答者数 (n = 1,488)
 総回答数 (N = 2,114)



F-10 職業

図 F-10 職業

回答者数 (n = 1,488)

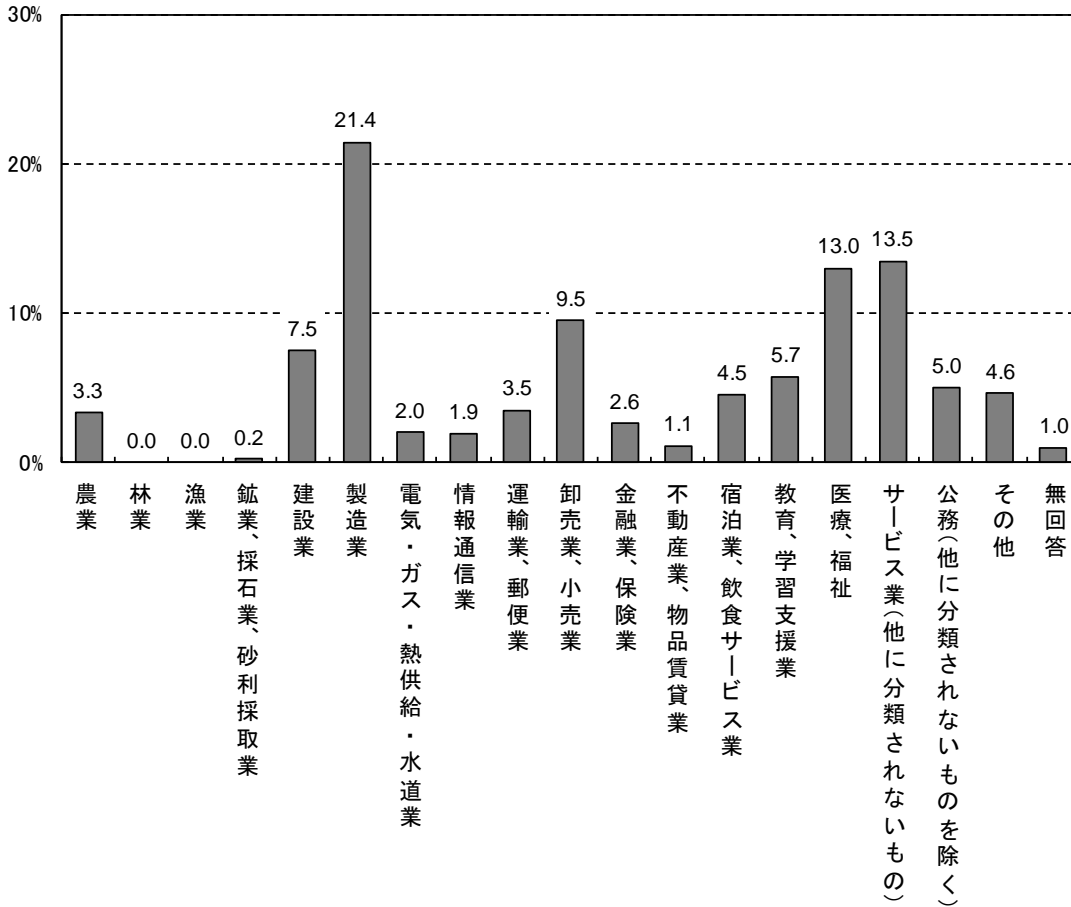


※ 自由業: 一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業で、作家、弁護士、医師、会計士、税理士、芸術家など

F-11 業種

図 F-11 業種

回答者数 (n = 918)※

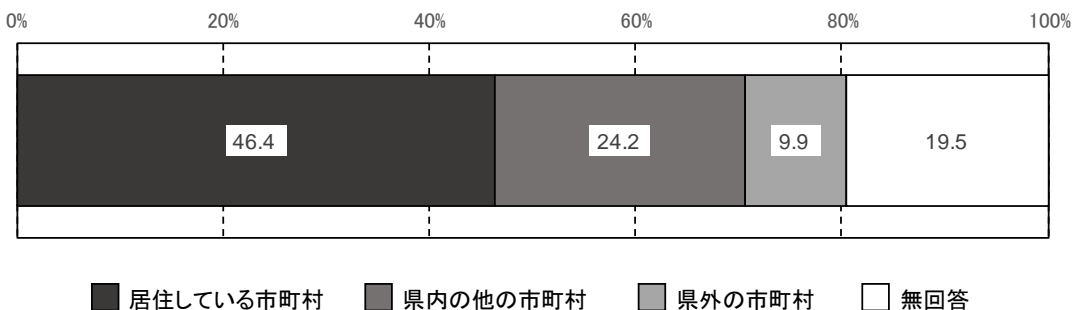


※ 「F10 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣と答えた方のみ

F-12 通勤、通学先

図 F-12 通勤、通学先

回答者数 (n = 942)※



※ 「F10 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、学生と答えた方のみ

Ⅱ 調査結果

2. 1 暮らしについて

問1 暮らしの前年比較

問1 あなたやあなたの家庭の暮らし向き(家計など)は、去年の今頃と比べてどうですか。
(1つだけ)

図 1-1 暮らしの前年比較

回答者数(n = 1,488)

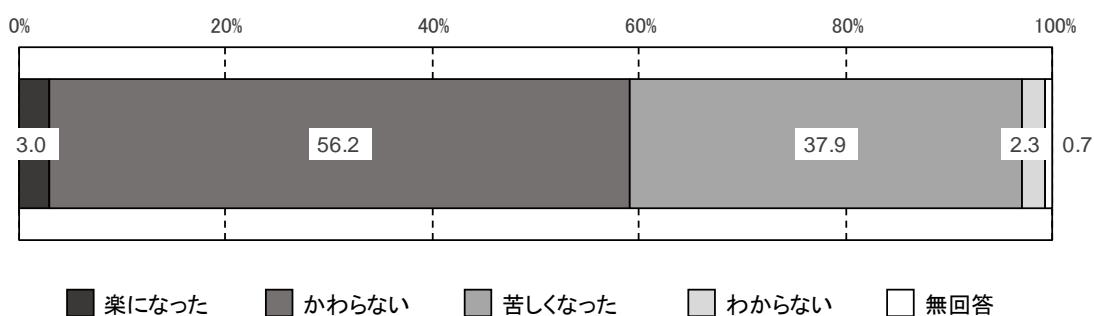
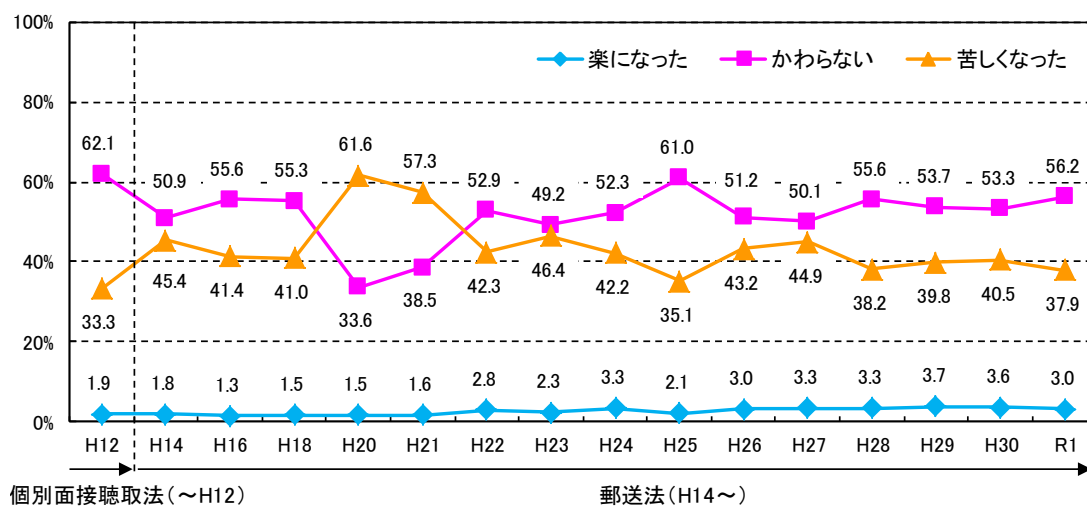


図 1-2 【経年変化】暮らしの前年比較



※ 調査方法:平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。

(3つまで)

図 1-2-1 暮らしが苦しくなったと感じる理由

回答者数 (n = 564) ※

総回答数 (N = 1,323)

給料等の収入が増えない、または減った

食品や日用品、光熱費などの
物価上昇による支出が増えた

医療・介護費の支出が増えた

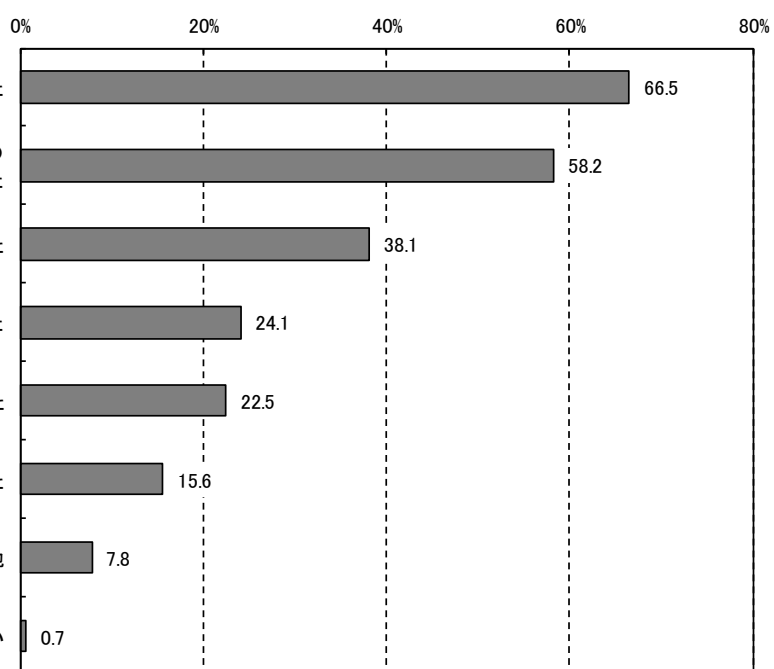
税金の支出が増えた

各種保険料などの支出が増えた

保育・教育費の支出が増えた

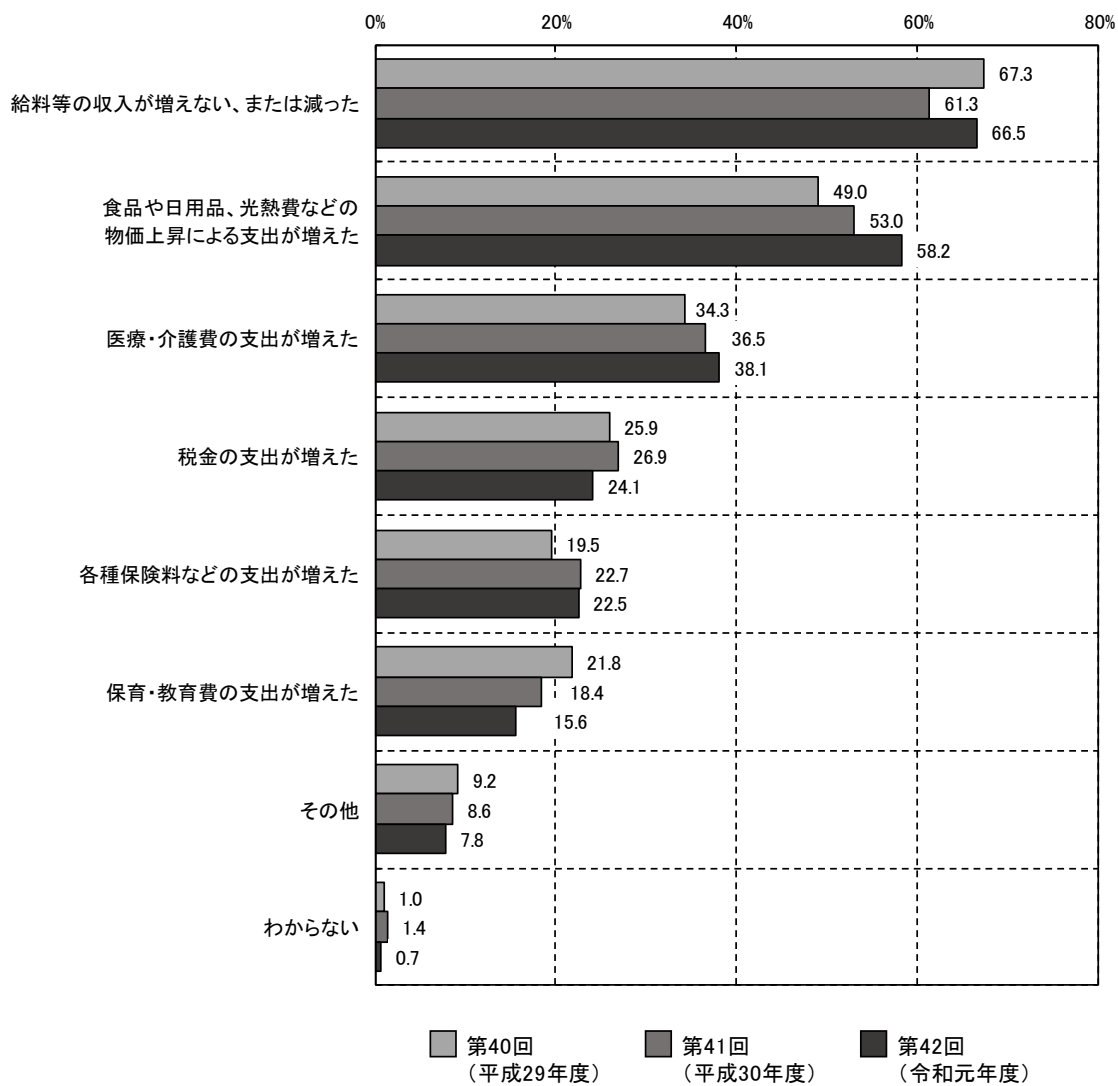
その他

わからない



※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

図 1-2-2 【前々回・前回比較】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



問2 暮らしの満足度

問2 あなたは、現在の暮らし全般（生活環境など）についてどう思いますか。（1つだけ）

図 2-1 暮らしの満足度

回答者数 (n = 1,488)

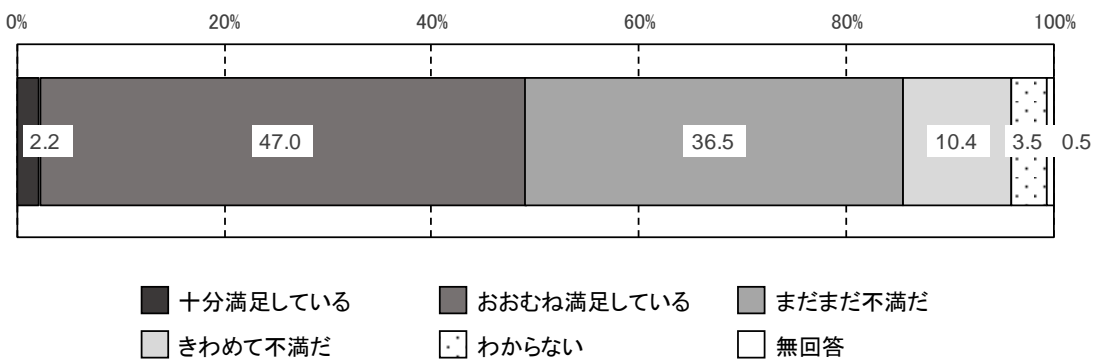
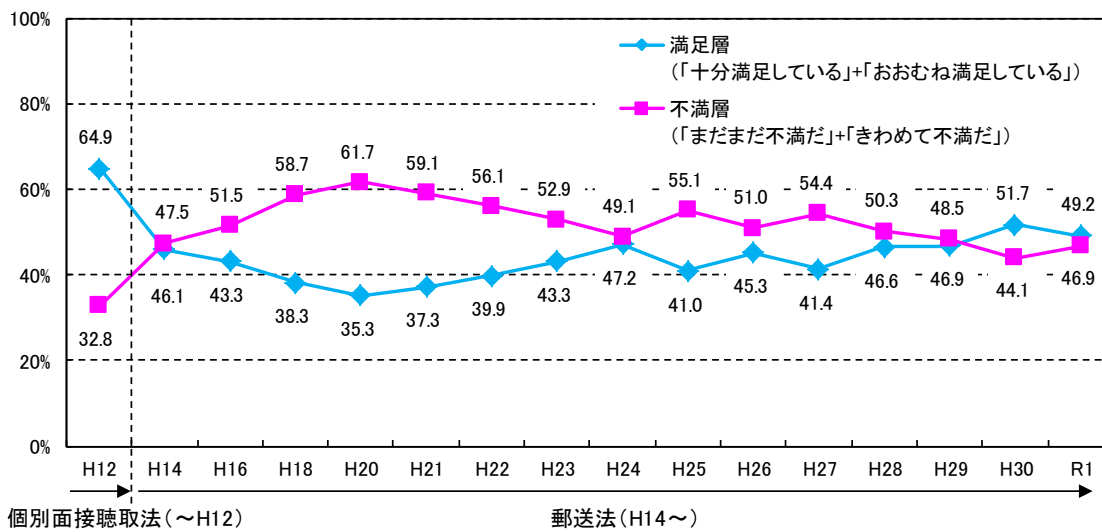


図 2-2 【経年変化】暮らしの満足度



※ 調査方法:平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

問3 生活面での不安

問3 あなたは、日頃の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(3つまで)

図 3-1 生活面での不安

回答者数(n = 1,488)

総回答数(N = 3,723)

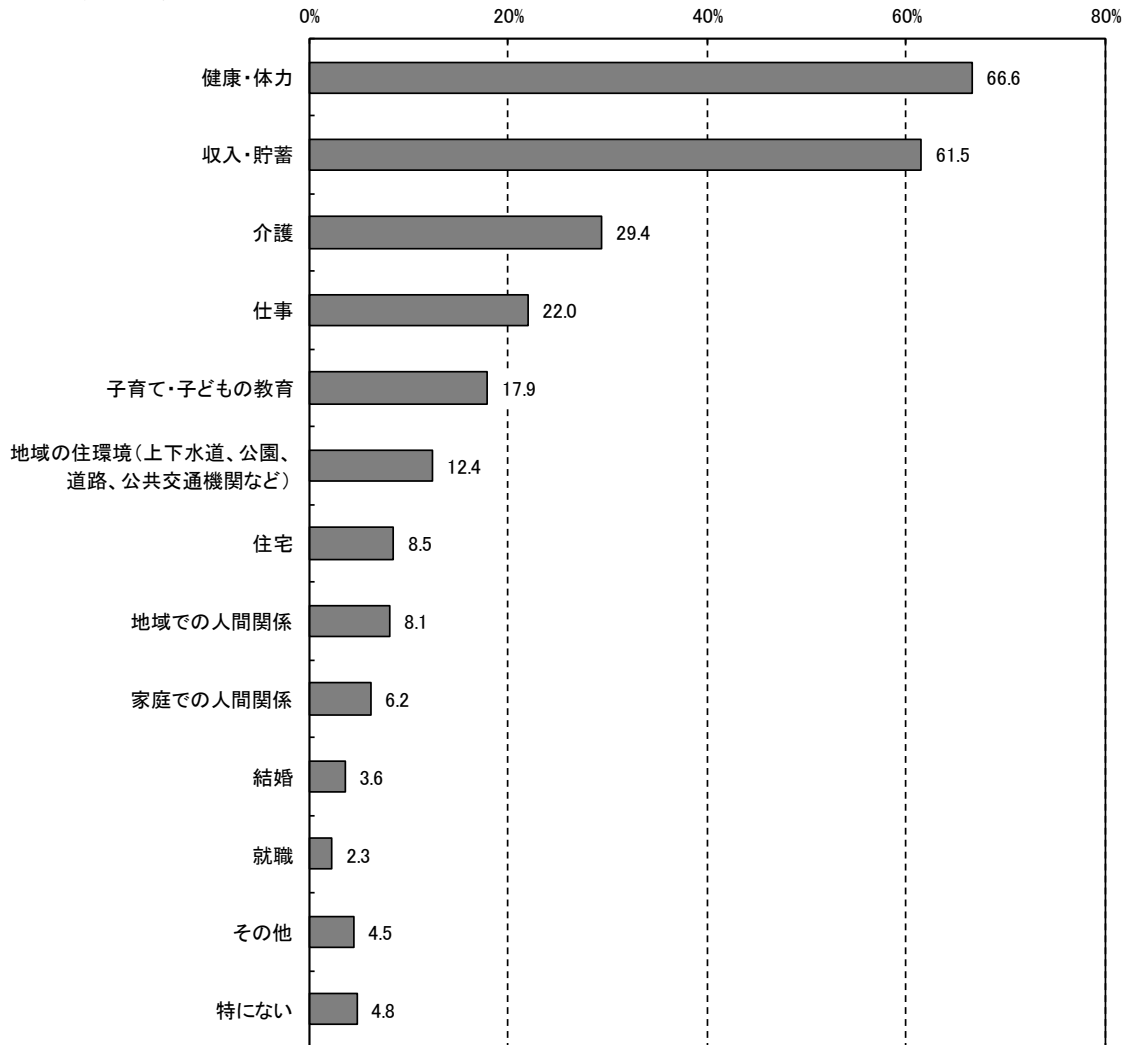
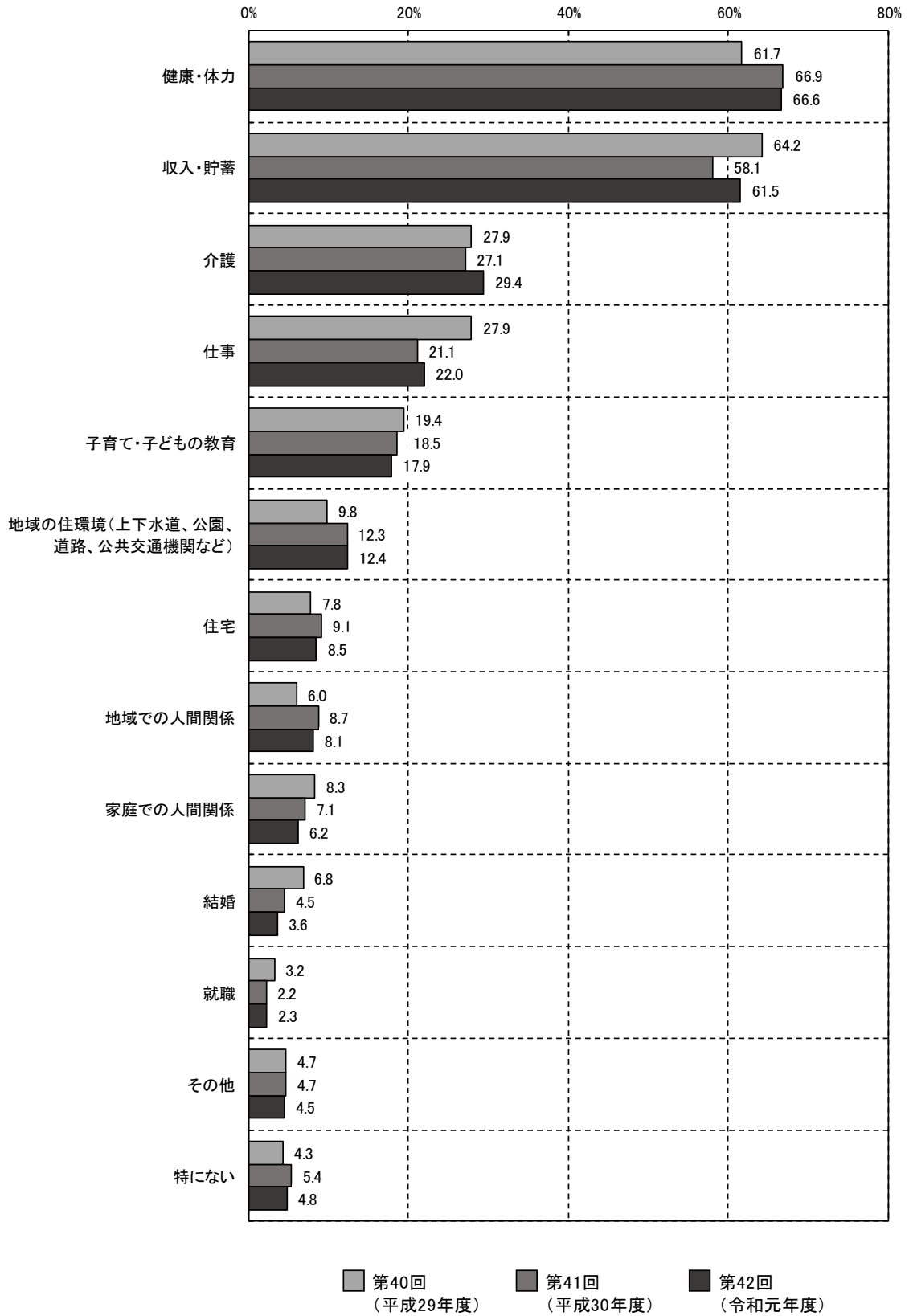


図 3-2 【前々回・前回比較】生活面での不安



問4 今後の暮らしの中で重視していきたいこと

問4 あなたが、今後の暮らしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。(3つまで)

図 4-1 今後の暮らしの中で重視していきたいこと

回答者数(n = 1,488)

総回答数(N = 4,014)

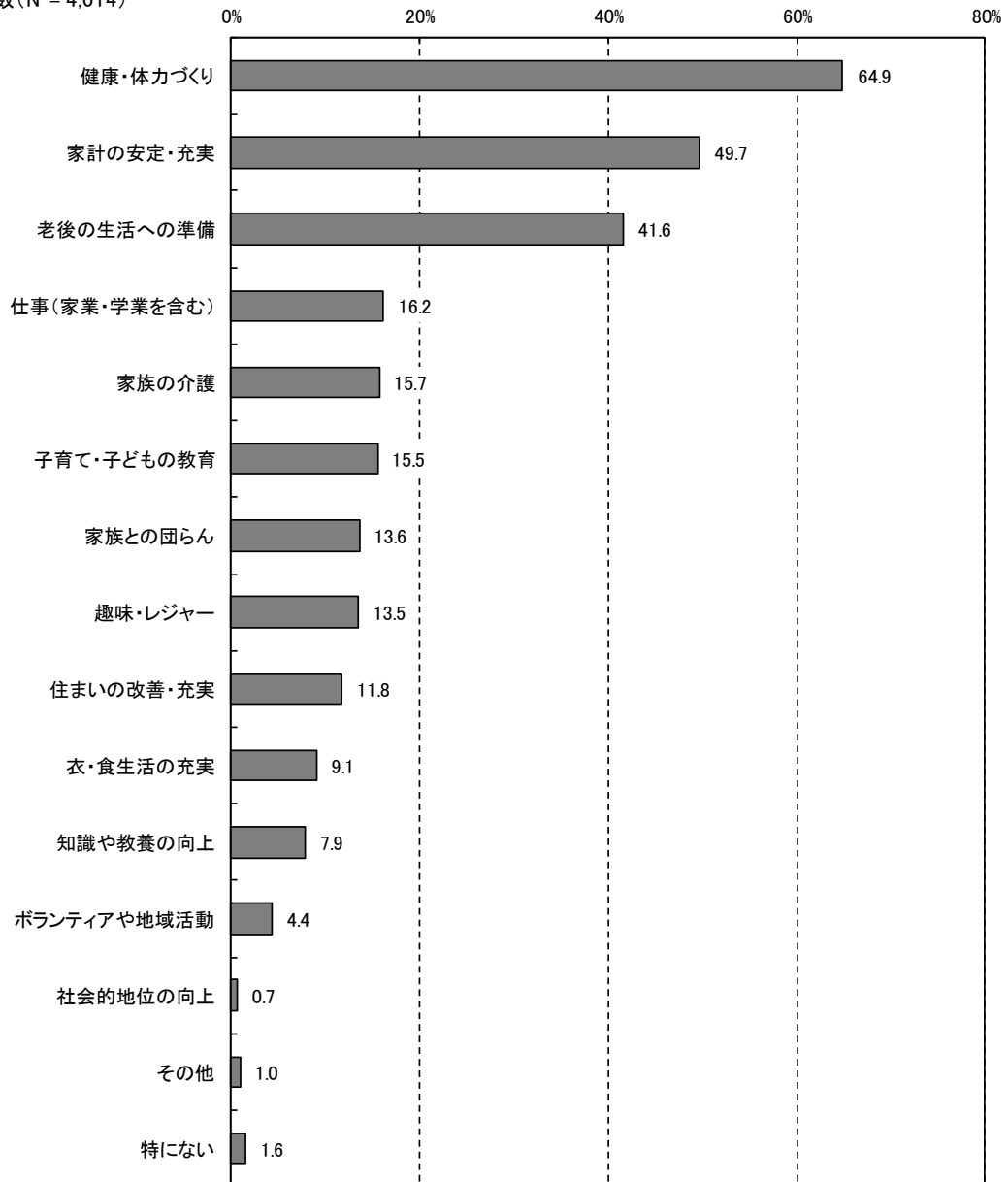
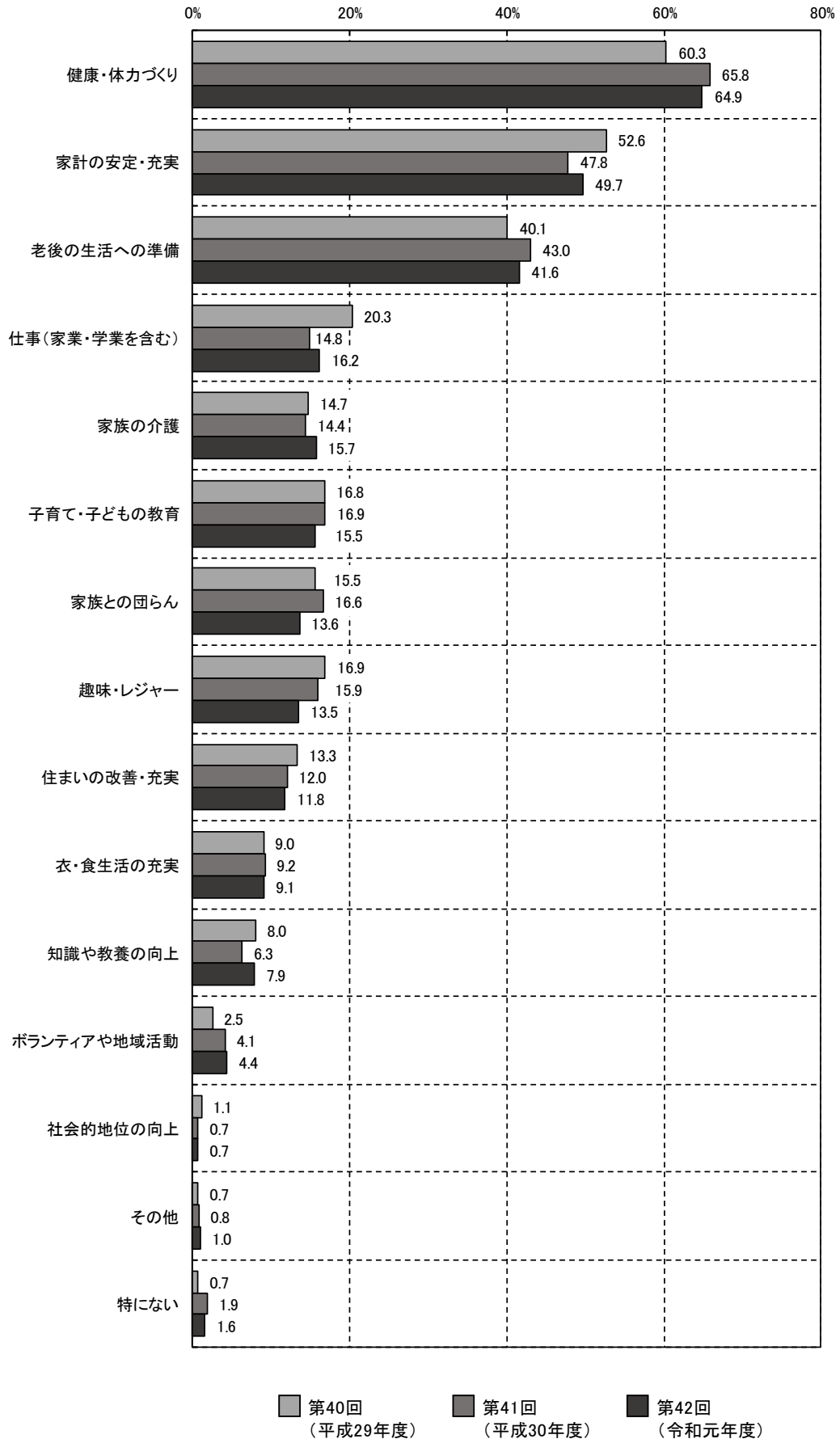


図 4-2 【前々回・前回比較】 今後の暮らしの中で重視していきたいこと



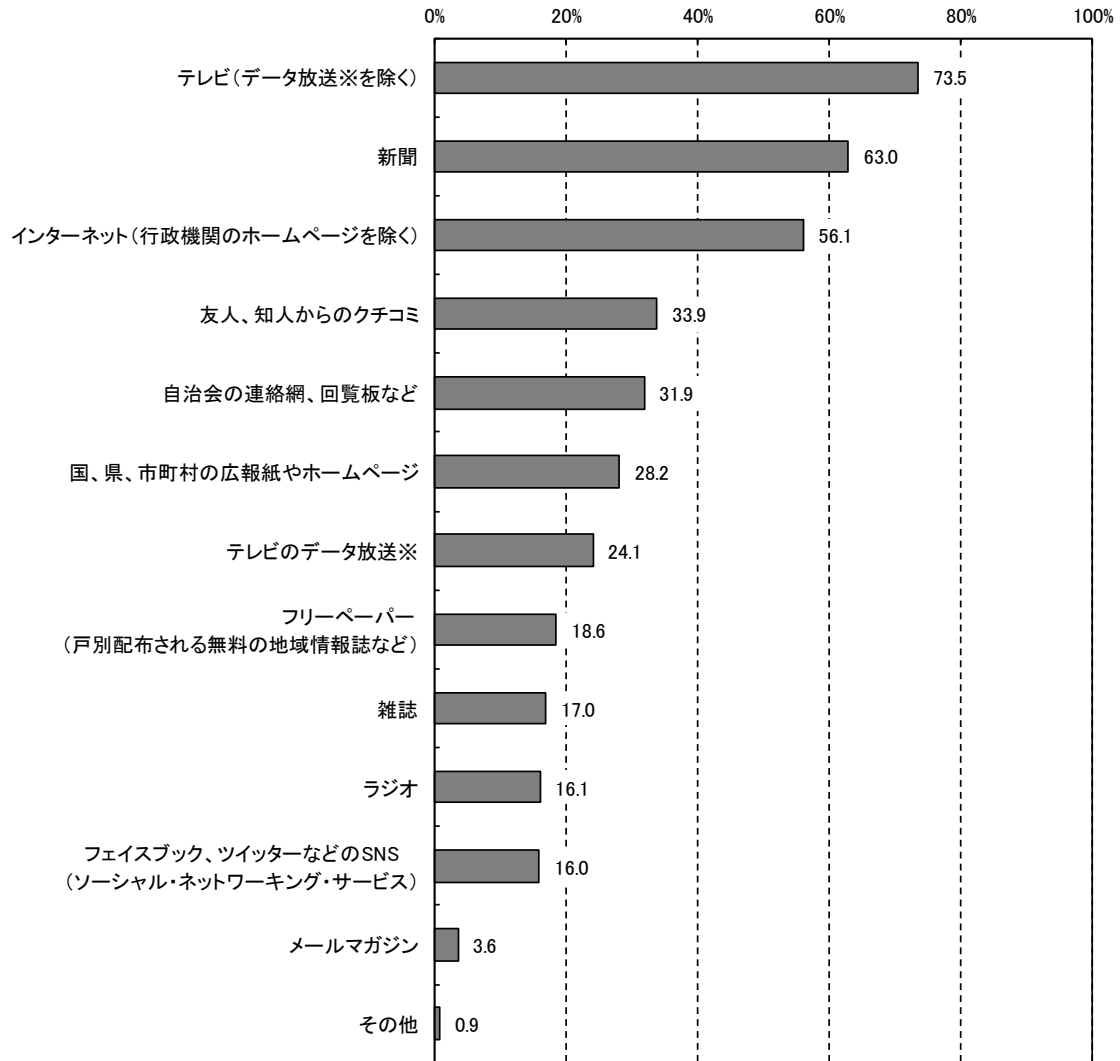
問5 生活に必要な情報の入手媒体

問5 あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。(いくつでも)

図 5-1 生活に必要な情報の入手媒体

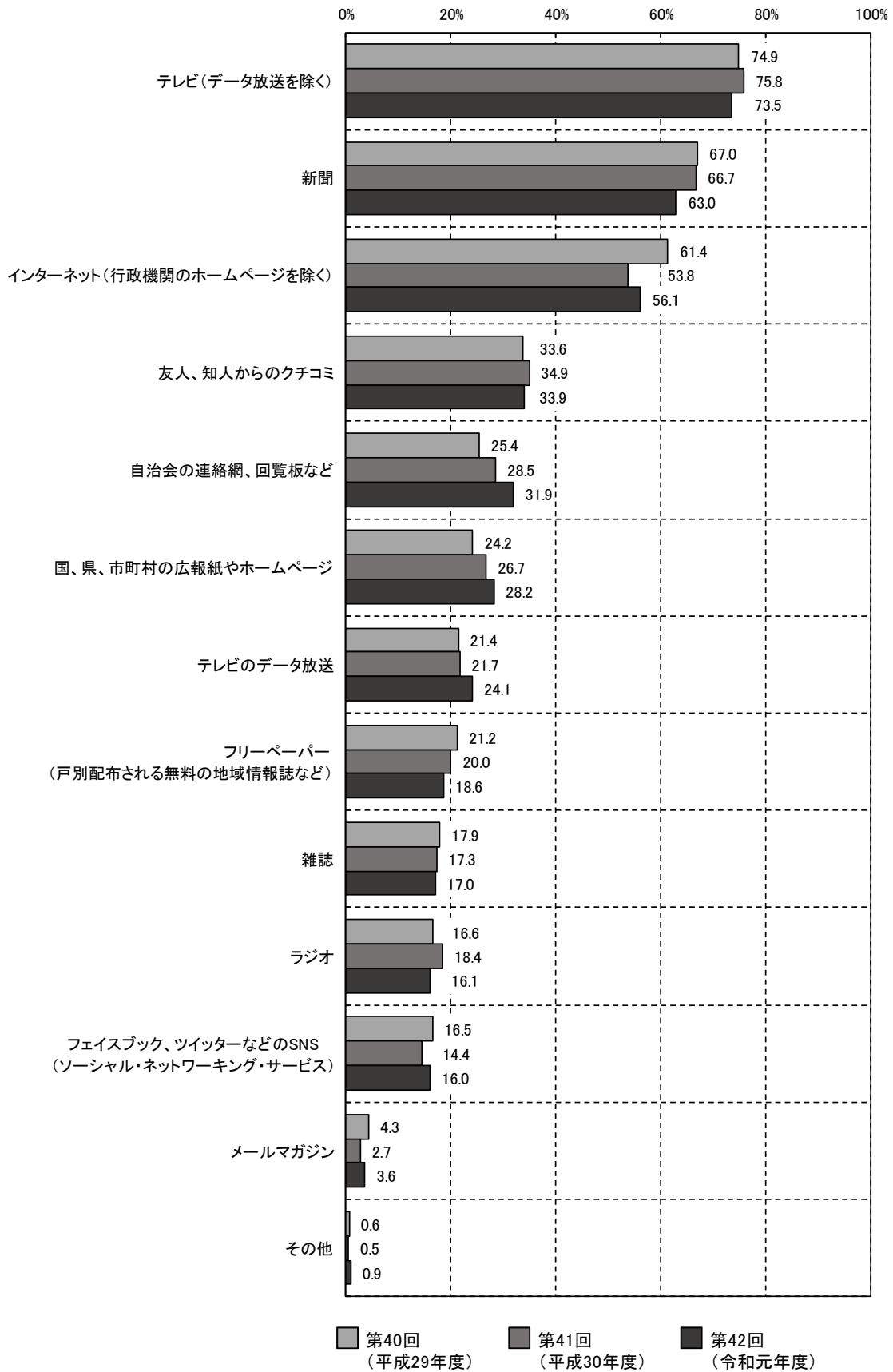
回答者数(n = 1,488)

総回答数(N = 5,723)



※ データ放送:リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

図 5-2 【前々回・前回比較】生活に必要な情報の入手媒体



問6 現在住んでいる地域は住みやすいか

問6 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。(1つだけ)

図 6-1 現在住んでいる地域は住みやすいか

回答者数(n = 1,488)

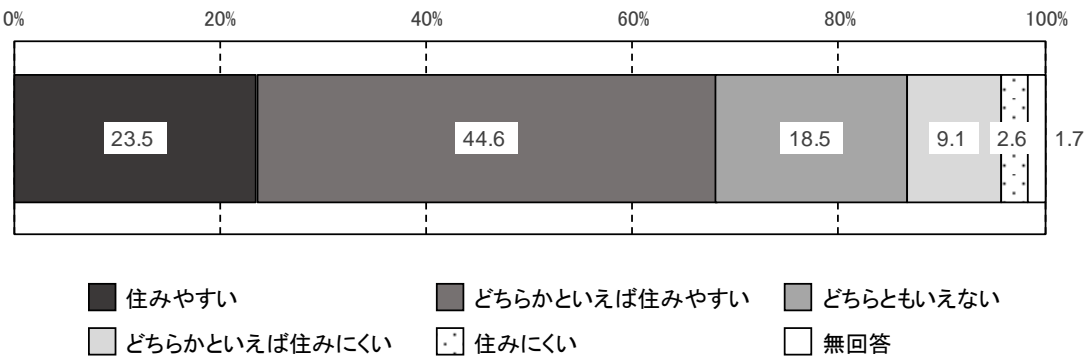
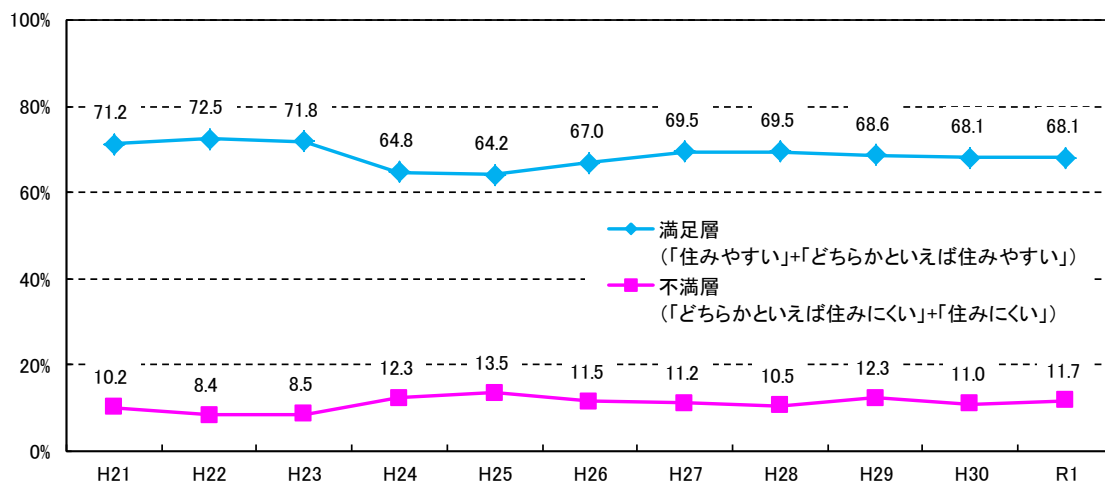


図 6-2 【経年変化】 現在住んでいる地域は住みやすいか



※ 平成 21 年度から調査

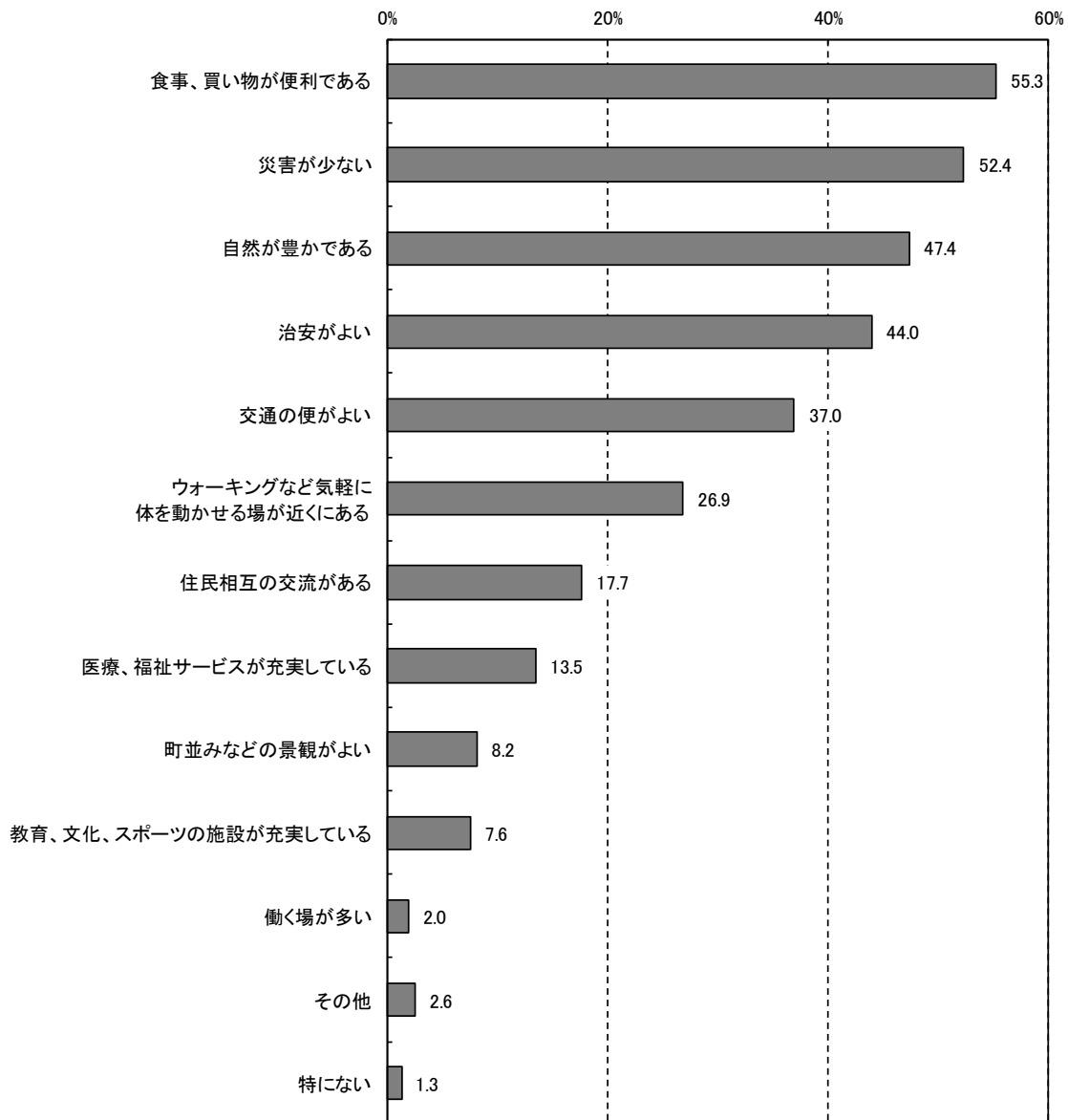
問6-2 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

問6-2 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお尋ねします。
現在お住まいの地域が住みやすいと感じるのは、特にどのような点ですか。
(いくつでも)

図 6-2-1 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

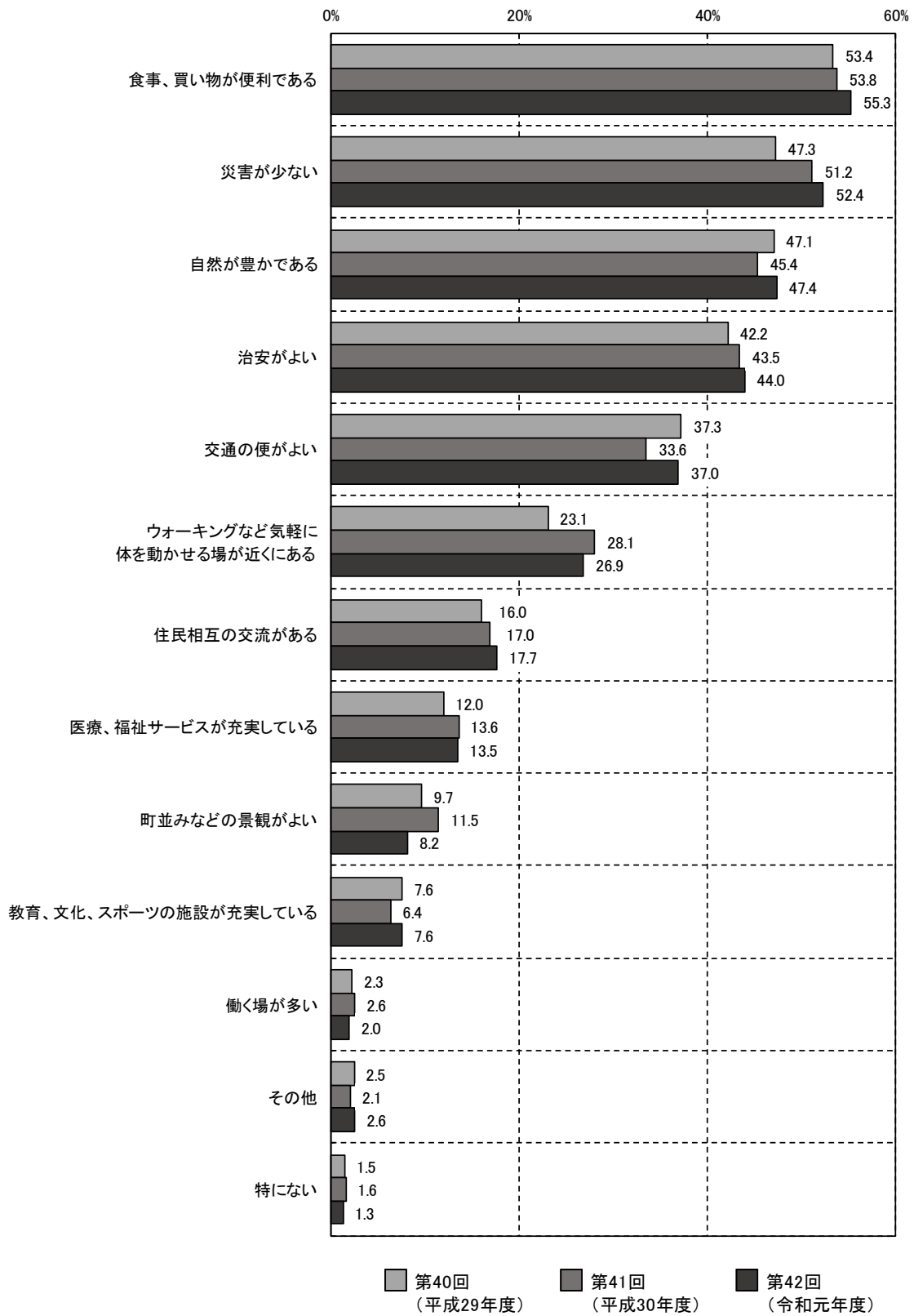
回答者数(n = 1,013)※

総回答数(N = 3,201)



※ 問6で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ

図 6-2-2 【前々回・前回比較】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点

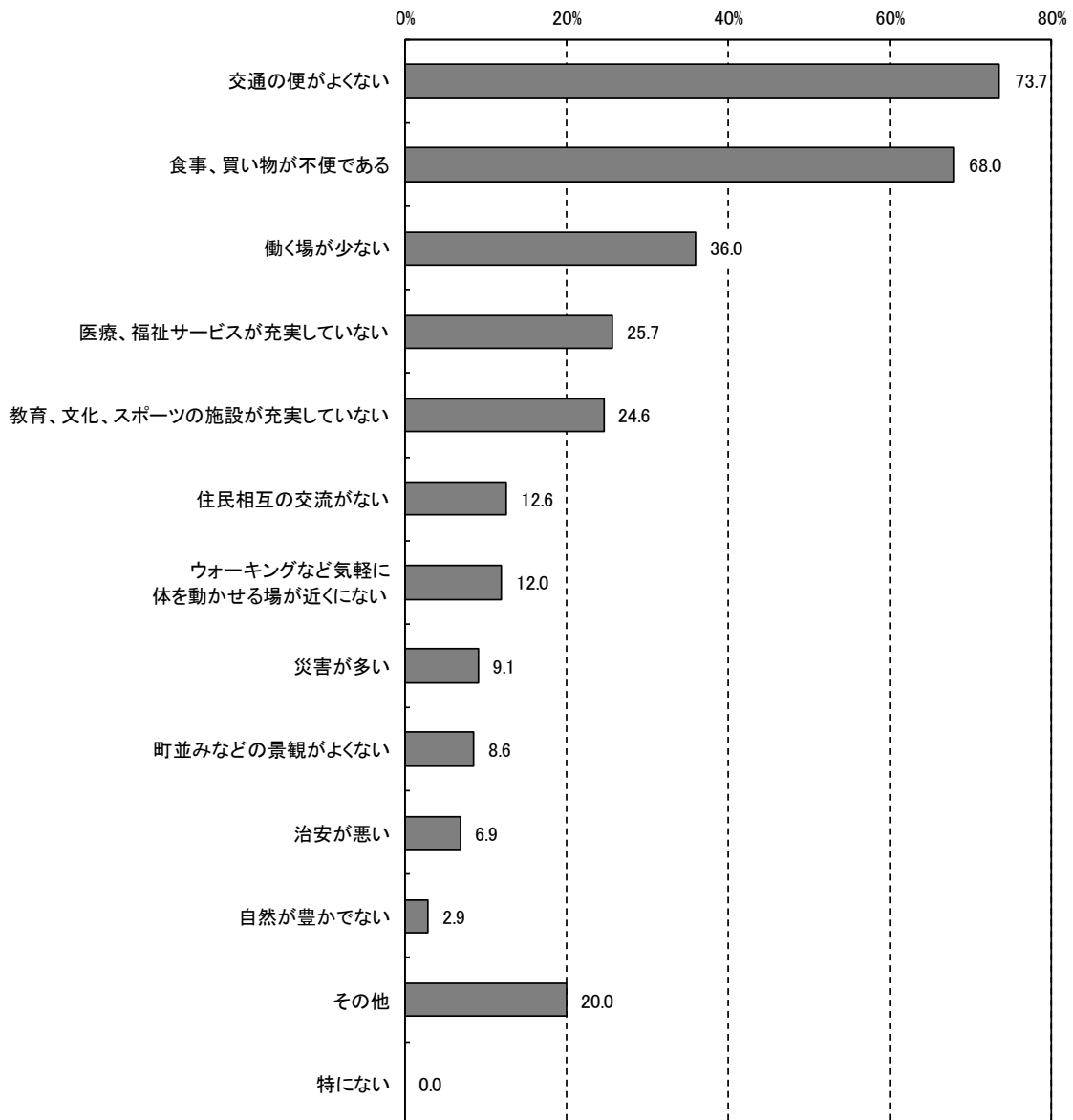


問6-3 住んでいる地域が住みにくいと感ずる点

問6-3 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお尋ねします。
 現在お住まいの地域が住みにくいと感ずるのは、特にどのような点ですか。
 (いくつでも)

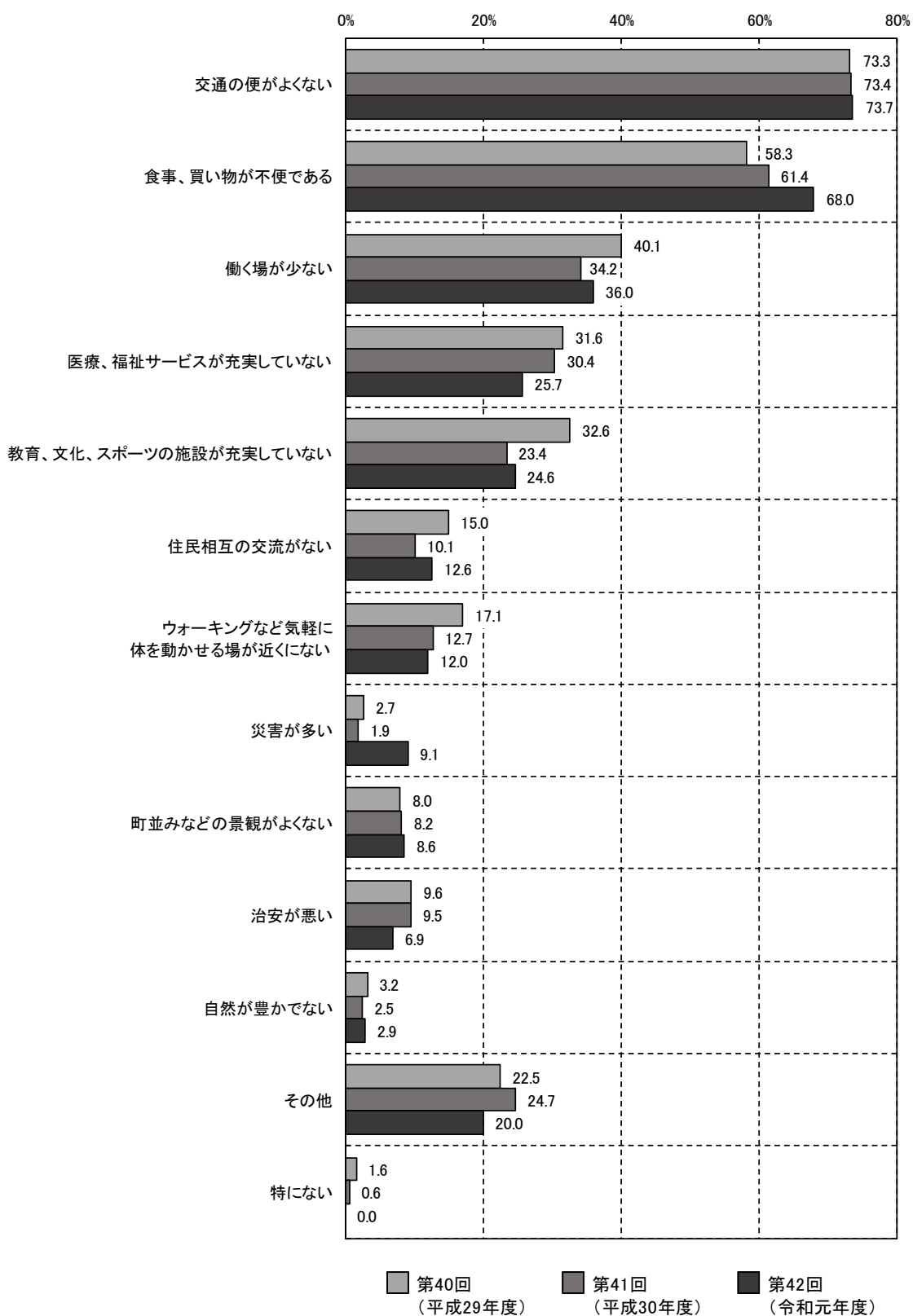
図 6-3-1 住んでいる地域が住みにくいと感ずる点

回答者数(n = 175)※
 総回答数(N = 525)



※ 問6で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方のみ

図 6-3-2 【前々回・前回比較】住んでいる地域が住みにくいと感ずる点



問7 今後も岐阜県に住み続けたいか

問7 あなたは、今後も岐阜県に住み続けたいと思いますか。(1つだけ)

図 7-1 今後も岐阜県に住み続けたいか

回答者数(n = 1,488)

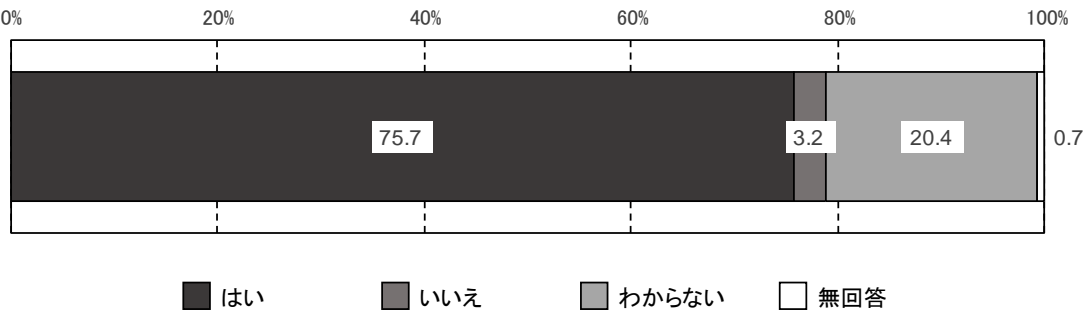
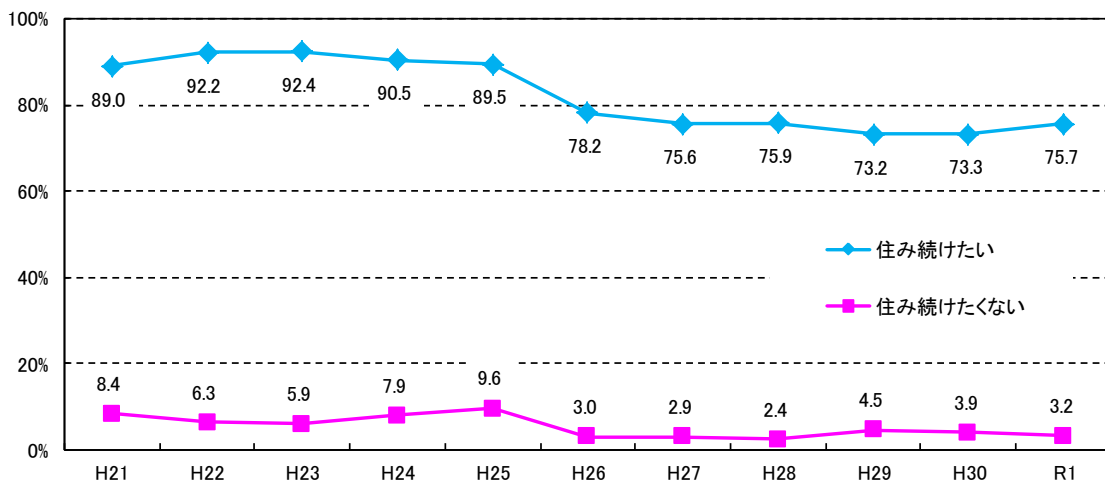


図 7-2 【経年変化】 今後も岐阜県に住み続けたいか



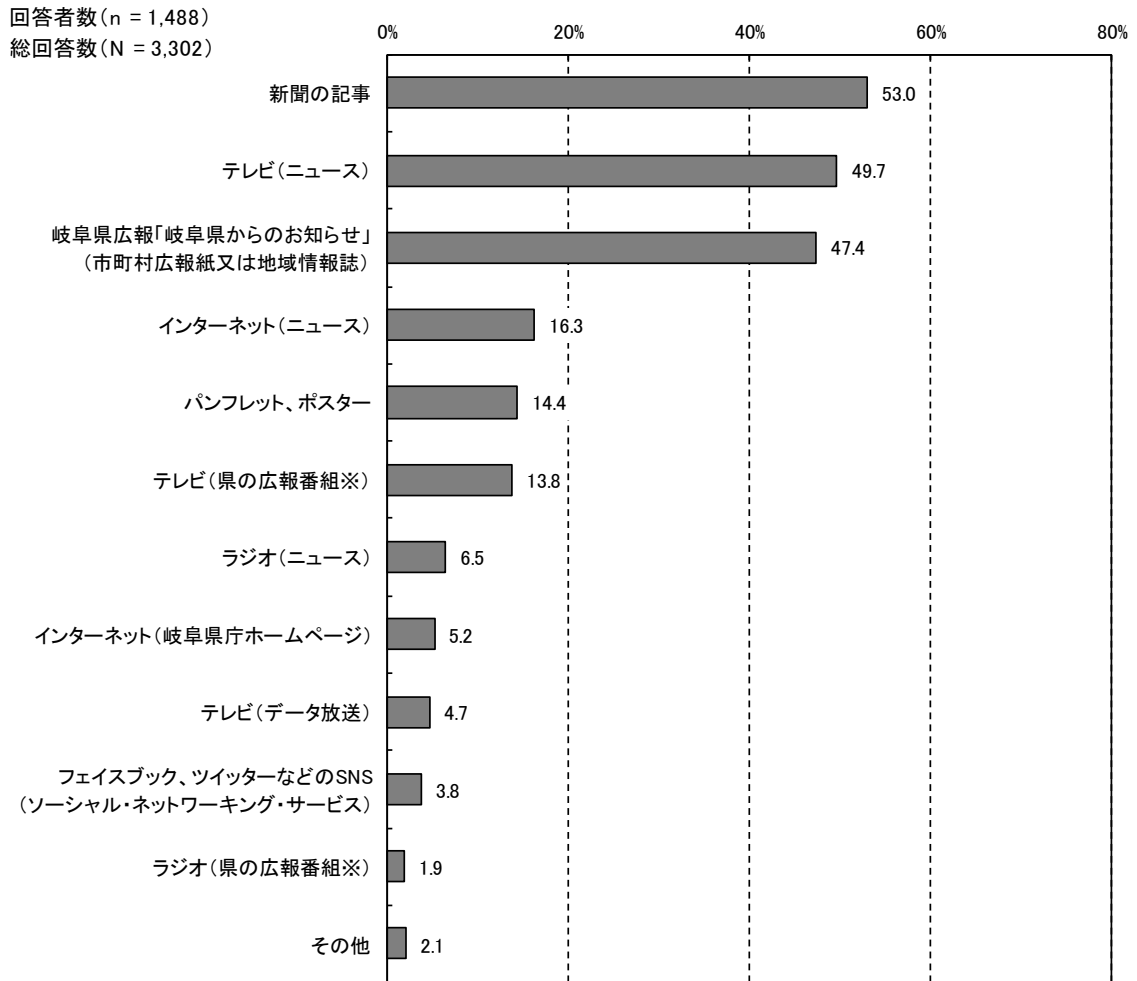
※ 平成 21 年度から調査

2. 2 県の取組み全般について

問8 施策や事業についての情報の入手方法

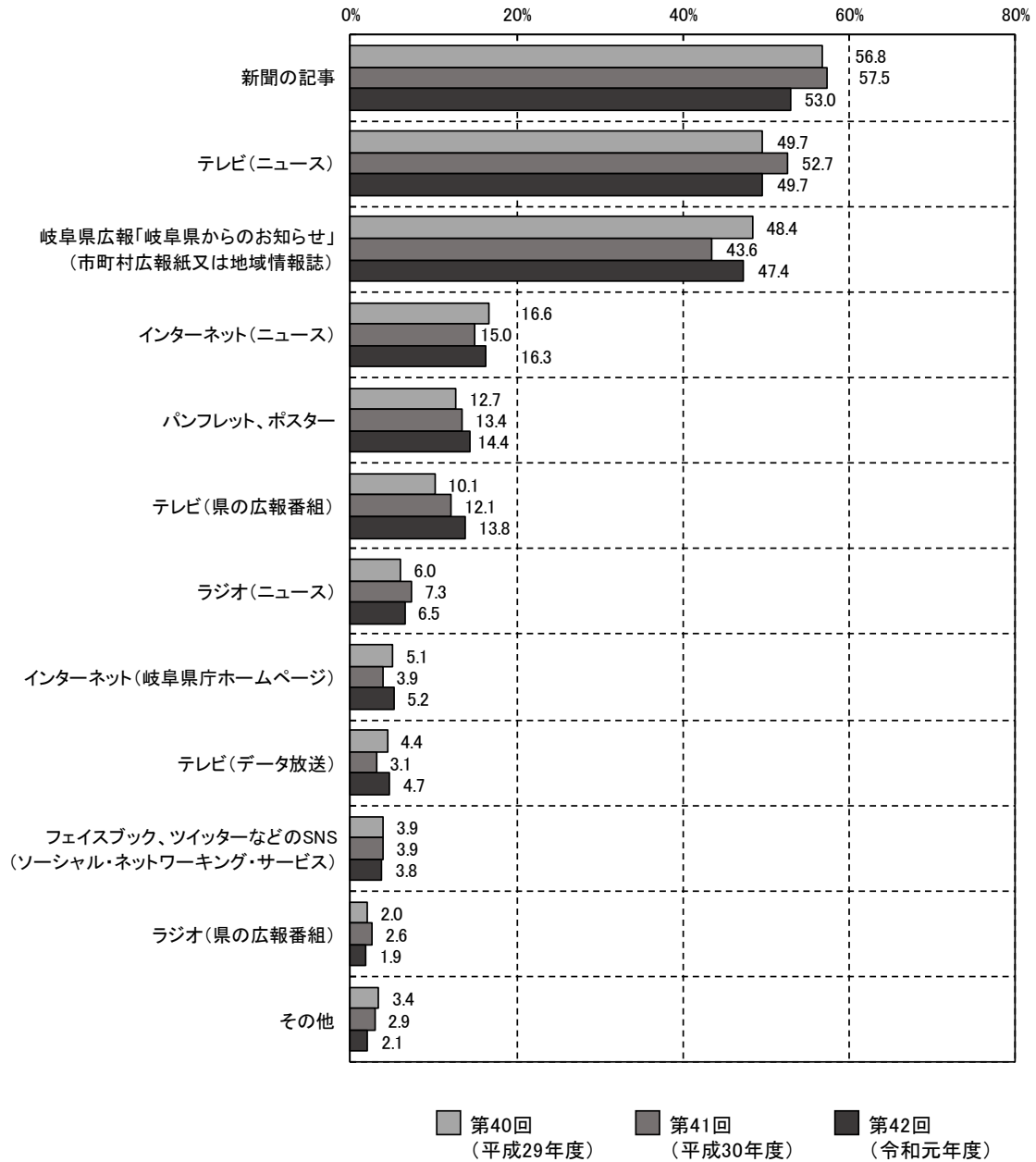
問8 あなたは、岐阜県が行っている施策や事業を、何によって知ることが多いですか。
(いくつでも)

図 8-1 施策や事業についての情報の入手方法



※ 県の広報番組:(テレビ)ぎふチャン(岐阜放送)「ぎふ県政ほっとライン」「ぎふ県だより」
(ラジオ)エフエム岐阜「GIFUインフォメーション」「ギフトピ」
ぎふチャン(岐阜放送)「ぎふ県だより」「週刊ぎふタイム」

図 8-2 【前々回・前回比較】 施策や事業についての情報の入手方法



問9 県事業への関心の有無

問9 あなたは、岐阜県が行っている事業やその進め方について、関心をお持ちですか。
(1つだけ)

図 9-1 県事業への関心の有無

回答者数 (n = 1,488)

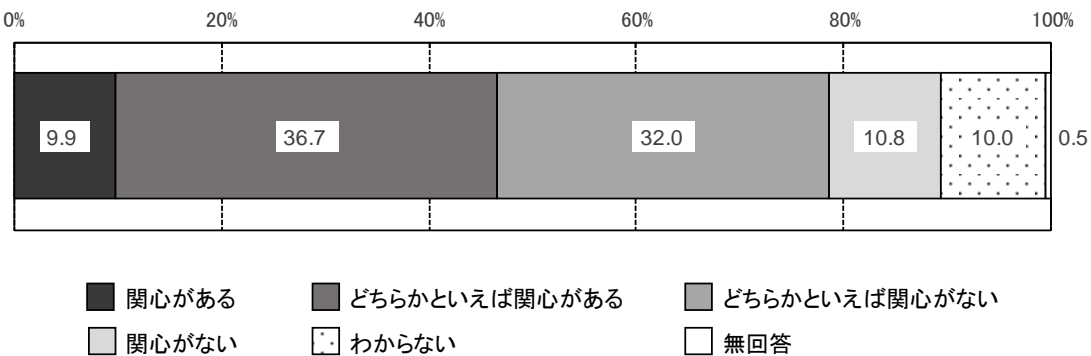
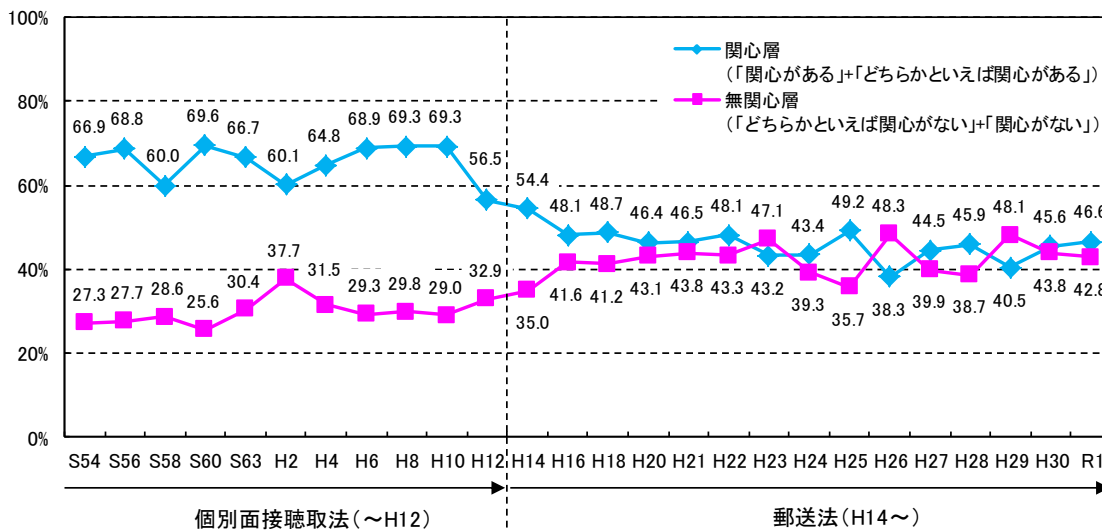


図 9-2 【経年変化】 県事業への関心の有無



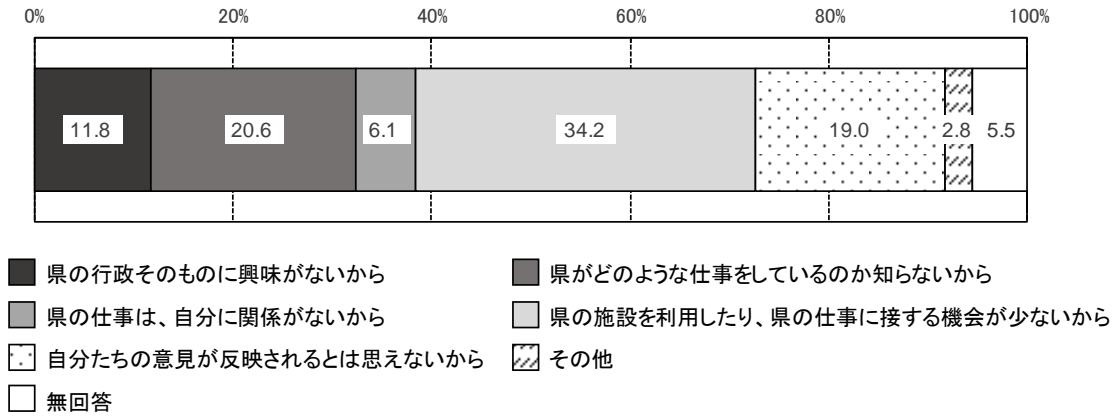
※ 調査方法:平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

問9-2 県事業に関心がない理由

問9-2 「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方にお尋ねします。
あなたが、岐阜県が行っている事業やその進め方に関心がないのは、
どのような理由からですか。(1つだけ)

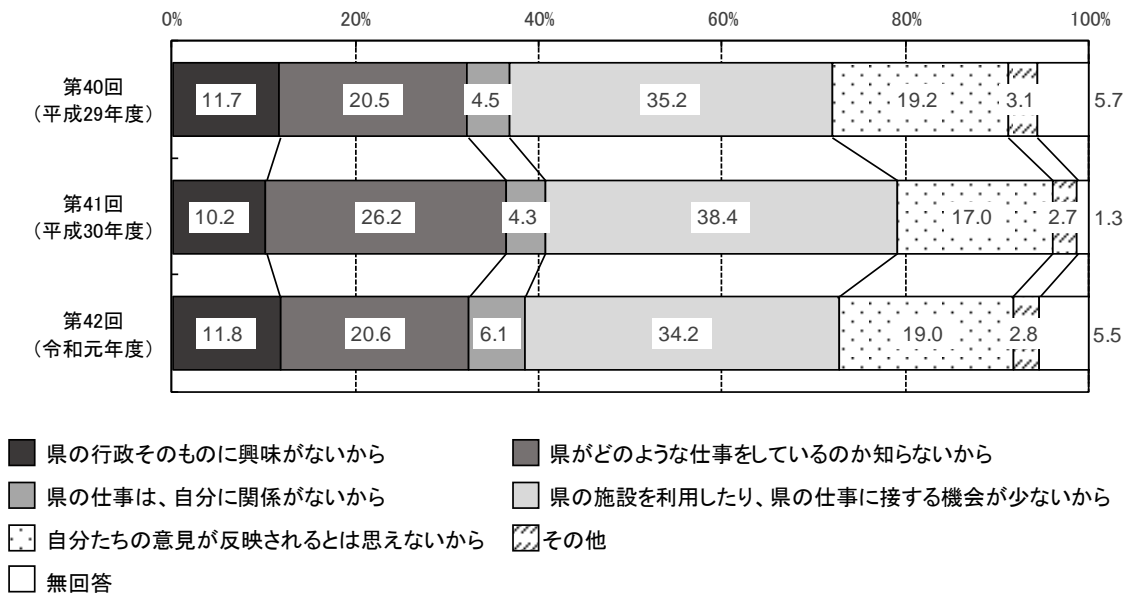
図 9-2-1 県事業に関心がない理由

回答者数(n = 637)※



※ 問9で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方のみ

図 9-2-2 【前々回・前回比較】 県事業に関心がない理由

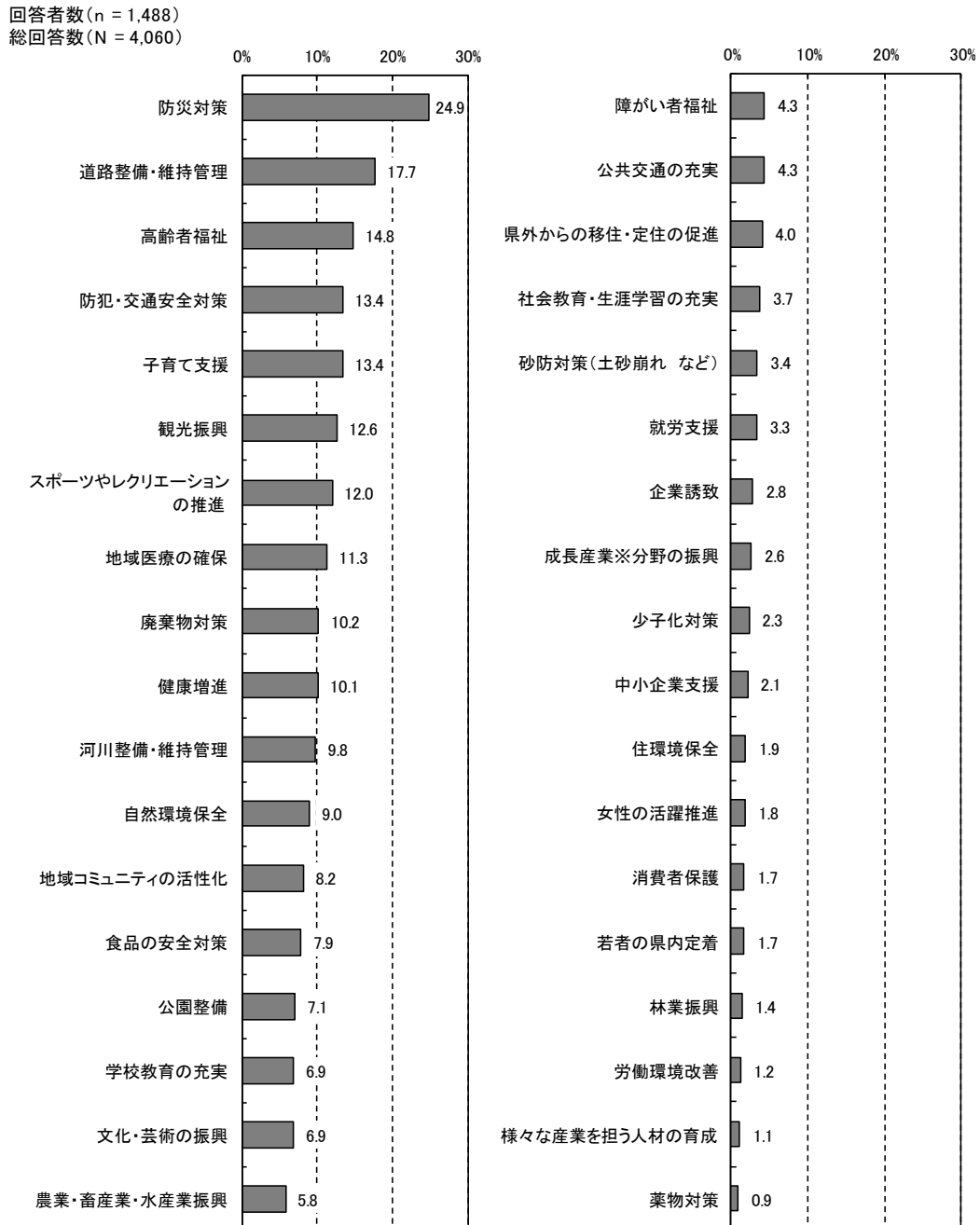


問10 県の取組でよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

問10 あなたが、県の取組についてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。
また、努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。(それぞれ5つまで)

【県の取組でよくやっていると思う分野】

図 10-1 県の取組でよくやっていると思う分野

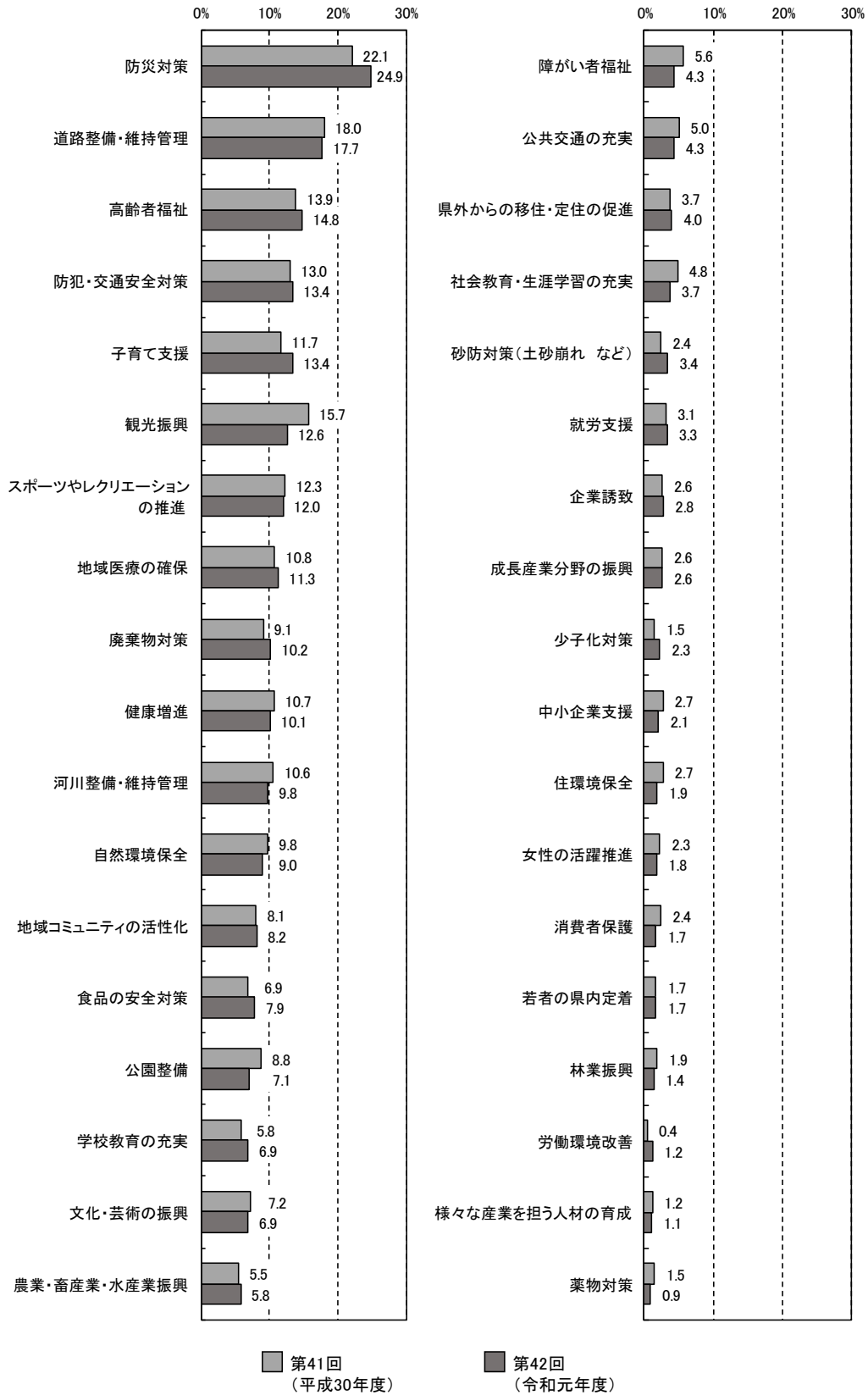


※ 成長産業:岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている。(令和元年度現在)

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

・住環境保全:騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

図 10-2 【前回比較】県の実施策でよくやっていると思う分野



【県の取組で努力が足りないと思う分野】

図 10-3 県の取組で努力が足りないと思う分野

回答者数 (n = 1,488)
総回答数 (N = 4,711)

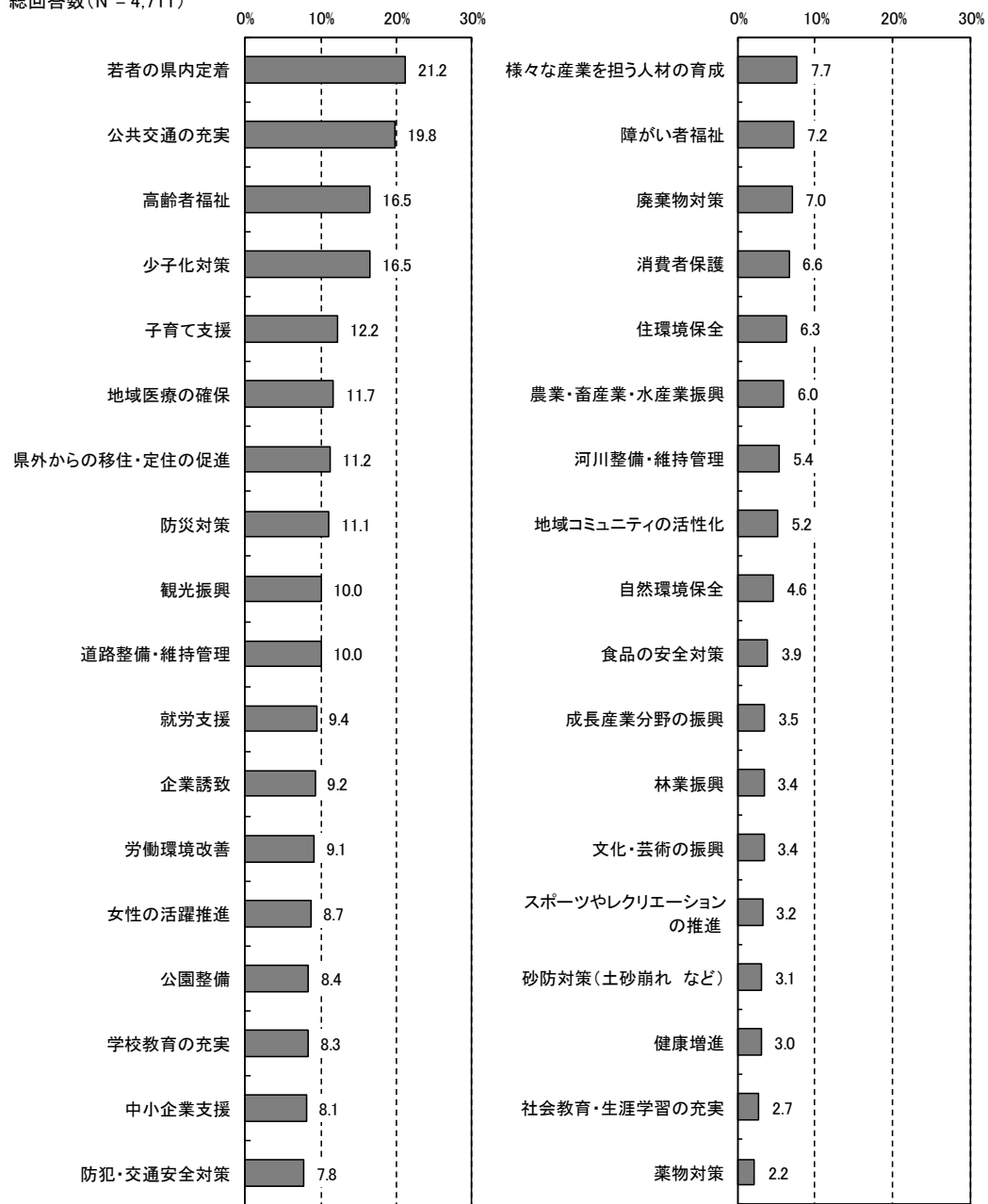
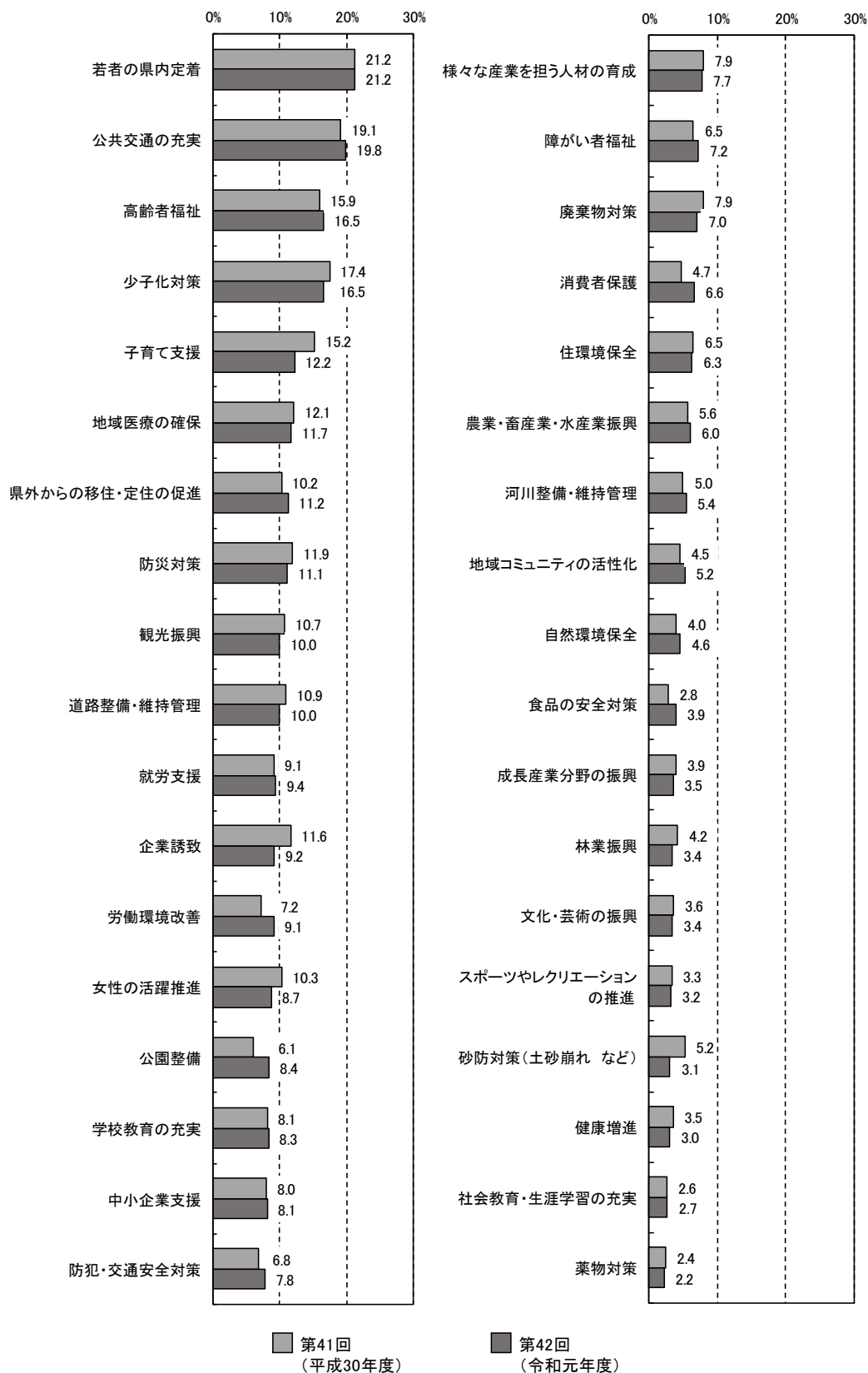


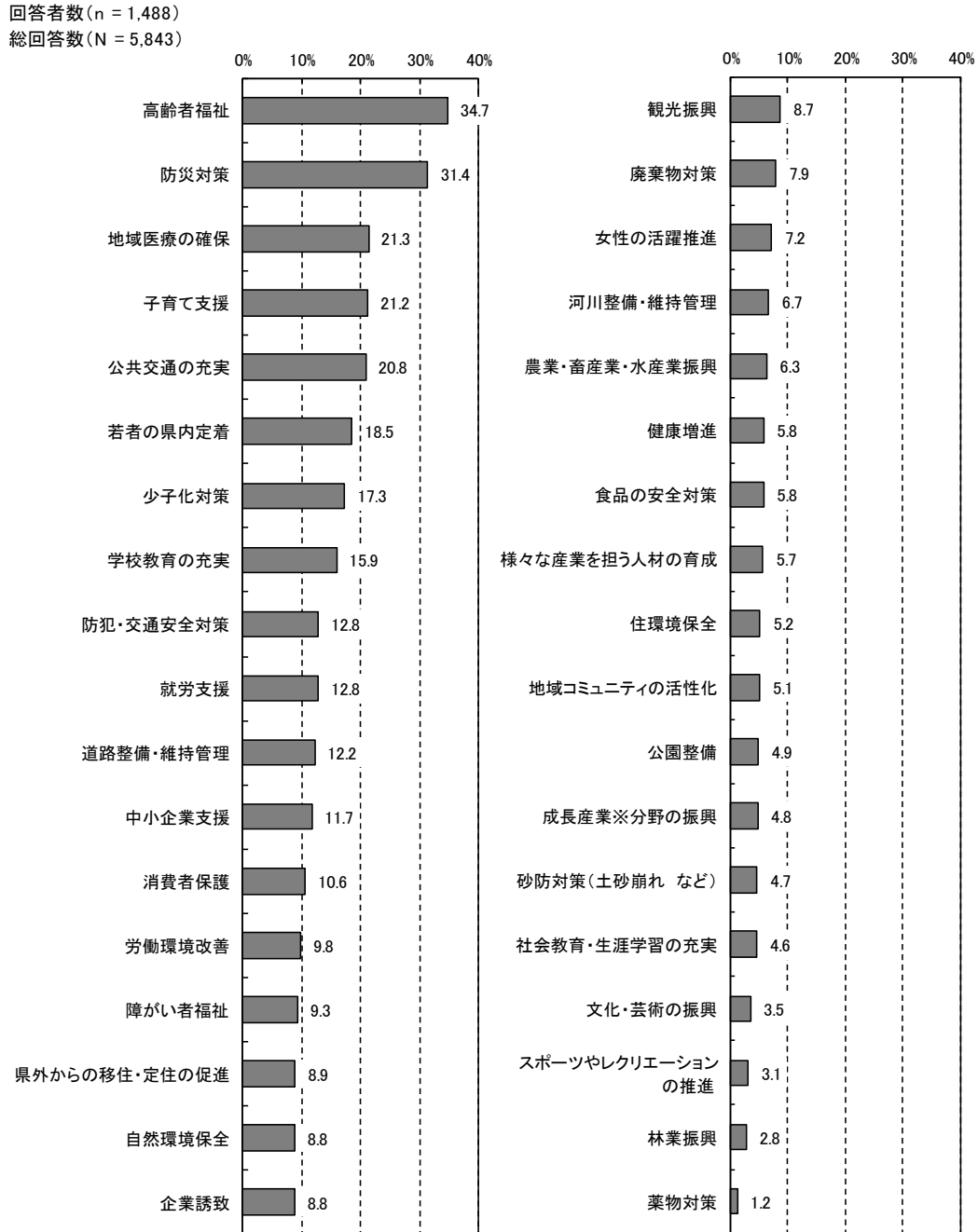
図 10-4 【前回比較】県の取組で努力が足りないと思う分野



問1 1 重点的に進めるべきだと思う分野

問1 1 あなたは、今後、県がどのような分野を重点的に進めるべきだと思いますか。
(5つまで)

図 11-1 重点的に進めるべきだと思う分野



※ 成長産業: 岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている。(令和元年度現在)

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

図 11-2 【前回比較】重点的に進めるべきだと思う分野

